

# まえがき

世界遺産専攻は、平成 16 年 4 月に芸術研究科世界遺産専攻として開設され、平成 19 年度からは新たに独立した組織として人間総合科学研究科博士前期課程世界遺産専攻となりました。わが国では初めての世界遺産を中心とする大学院課程である本専攻の教育目標は、世界遺産をはじめとする文化遺産や自然遺産の保護と活用に関わる専門家の育成であり、世界遺産研究に関わる修士論文の提出により、修士(世界遺産学) または修士(学術)を授与しています。

博士後期課程世界文化遺産学専攻は、平成 18 年 4 月に人間総合科学研究科に開設され、高度な実務専門家、研究者養成を目的とする世界遺産研究の博士課程です。博士学位請求論文の審査を得て、修士(世界遺産学) または修士(学術)を授与されます。

世界遺産専攻および世界文化遺産学専攻は、お互い密接な関連をもち、世界遺産学に関わる基礎研究から先端にまでいたる幅広い専門研究の実績を上げています。

人類が築き上げた文明の遺産と伝統的な文化の継承、人類の活動と自然との調和的共生は全地球的な課題となっています。世界遺産リストに記載された遺産のみならず、地域の文化と自然是、過去から継承し未来へ託す貴重な財産です。しかし、この貴重な財産は、自然災害、戦争や紛争、観光開発、気候変動など、人的・自然的原因により危機に瀕しています。文化遺産・自然遺産は人々の活動と地球規模の環境変化の影響下にあり、その保護と活用を巡る状況は複雑にして解決が難しい問題となっています。

両専攻は、専門的知識と技術をもってこうした状況に挑み、内外の専門家、行政担当者、住民等と協力・連携して遺産の望ましい保護と活用を進める人材を育成します。遺産の保護と活用に関わる専門家、研究者になるために必要な学術、技術、制度的知識は多岐にわたりますが、本専攻では遺産保護の実務に必要な理念、教養、方法論およびマネージメントの能力取得、および遺産の評価、調査、分析、修復を行なう技術修得を教育目標としています。本専攻の人材育成が遺産保護という重要な地球的・社会的使命に応え、わが国の国際貢献に寄与するように努めて行きたいと考えます。

平成 30 年 4 月

世界遺産専攻長  
世界文化遺産学専攻長  
吉田正人

# 目次

|                                    |    |
|------------------------------------|----|
| まえがき                               | 1  |
| 目次                                 | 2  |
| <b>I 博士前期課程 世界遺産専攻</b>             |    |
| <b>履修の概要</b>                       |    |
| 1. 例言                              | 5  |
| 2. 履修方法                            | 5  |
| 3. 授業一覧                            | 6  |
| 4. 時間割                             | 9  |
| 5. 履修申請の注意事項                       | 12 |
| <b>II 博士前期課程 世界遺産専攻</b>            |    |
| <b>授業科目の概要</b>                     |    |
| 1. 必修科目                            | 13 |
| 2. 選択科目                            | 19 |
| <b>III 世界遺産学外研修(インターン)について</b>     | 53 |
| <b>IV 博士後期課程 世界文化遺産学専攻</b>         |    |
| <b>履修・授業科目の概要</b>                  |    |
| 1. 履修方法                            | 59 |
| 2. 履修申請の注意事項                       | 59 |
| <b>V 自然保護サーティフィケートプログラム (CPNC)</b> |    |
| 1. 履修申請の注意事項                       | 71 |
| 2. 履修方法                            | 72 |
| 3. 授業科目の概要                         | 73 |
| <b>VI 教員一覧及び連絡先</b>                | 81 |

# I

博士前期課程世界遺産専攻

## 履修の概要



# 博士前期課程世界遺産専攻

## 1. 例言

このシラバスは人間総合科学研究科博士前期課程世界遺産専攻の平成30年度の授業内容および授業計画などの概要を示したもので、このシラバスをよく読み、履修計画を立ててください。シラバスの内容は変更する場合がありますが、その都度カリキュラム担当または授業担当教員が訂正を行いますので注意してください。

## 2. 履修方法

人間総合科学研究科 世界遺産専攻（博士前期課程）

### 【履修方法・修了要件】

| 科目区分  | 科目群  | 条件又は科目名等  | 修得単位数 |
|-------|------|---|-------|
| 専門科目  | 必修科目 | 世界遺産論（2単位）<br>世界遺産特別演習（3単位）<br>世界遺産特別研究（6単位）  | 11    |
|       | 選択科目 | 希望する分野（国際遺産学分野・遺産の評価と保存分野・遺産のマネージメントとプランニング分野）から1つの分野を選択し、選択した分野から8単位程度選択することが望ましい。 | 19～   |
| 修了単位数 |      |   | 30    |

- 上表に基づき30単位以上を修得し、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。
- 他研究科・他専攻の科目（自然保護サーティフィケートプログラムの科目を含む）、大学院共通科目、学群の科目は、研究上の必要に応じて、指導教員と専攻長の承認を得て、10単位を限度として修了要件の選択科目として認定されることがある。

### 3. 授業一覧

#### (1) 必修科目 (合計 11 単位)

| 科目番号    | 授業科目名    | 単位   | 学期   | 教員   |
|---------|----------|------|------|------|
| 01EC401 | 世界遺産論    | 2 単位 | 春 AB | 専攻教員 |
| 01EC405 | 世界遺産特別演習 | 3 単位 | 隨時   | 専攻教員 |
| 01EC406 | 世界遺産特別研究 | 6 単位 | 隨時   | 専攻教員 |

#### (2) 選択科目 (19 単位以上履修すること)

【共通】

| 科目番号    | 授業科目名    | 単位   | 学期       | 教員     |
|---------|----------|------|----------|--------|
| 01EC501 | 世界遺産学外研修 | 3 単位 | 応談       | 専攻専任教員 |
| 01EC507 | 無形遺産論    | 1 単位 | 秋 ABC 集中 | 非常勤講師  |
| 01EC519 | 文化遺産演習   | 2 単位 | 夏季休業中集中  | 黒田乃生   |
| 01EC536 | 文化遺産論    | 1 単位 | 春 A      | 稻葉信子   |
| 01EC565 | 自然遺産論    | 1 単位 | 春 A      | 吉田正人   |
| 01EC539 | 自然遺産演習   | 2 単位 | 夏季休業中集中  | 吉田・武   |
| 01EC544 | 遺産保護行政論  | 1 単位 | 秋 ABC 集中 | 非常勤講師  |
| 01EC561 | 遺産の保存と活用 | 1 単位 | 秋 ABC 集中 | 非常勤講師  |
| 01EC515 | 宗教論      | 1 単位 | 秋 AB     | 山中弘    |

【国際遺産学分野】

| 科目番号    | 授業科目名  | 単位   | 学期       | 教員    |
|---------|--|------|----------|-------|
| 01EC537 | Heritage Theory and Policy studies<br>(国際遺産論)                  | 1 単位 | 秋 ABC 集中 | 稻葉信子  |
| 01EC546 | UNESCO and the World Heritage Convention<br>(ユネスコと世界遺産条約)      | 1 単位 | 春 B      | 稻葉信子  |
| 01EC548 | Role of International Organizations and NGOs<br>(国際機関の役割)      | 1 単位 | 秋 A 集中   | 吉田・稻葉 |
| 01EC549 | World Heritage and International Cooperation<br>(世界遺産と国際協力)    | 1 単位 | 春 C 集中   | 吉田・稻葉 |
| 01EC550 | World Heritage and Civil Participation<br>(世界遺産と市民参加)          | 1 単位 | 秋 C 集中   | 吉田・稻葉 |
| 01EC551 | World heritage and Sustainability<br>(世界遺産と持続可能性)              | 1 単位 | 秋 A 集中   | 吉田・稻葉 |
| 01EC552 | International Conventions for Heritage Conservation<br>(国際条約論) | 1 単位 | 春 B 集中   | 吉田・稻葉 |
| 01EC564 | Project Practice in World Heritage<br>(プロジェクト実習)               | 2 単位 | 春季休業中集中  | 吉田・佐伯 |

【遺産の評価と保存分野】

| 科目番号    | 授業科目名    | 単位   | 学期         | 教員   |
|---------|----------|------|------------|------|
| 01EC516 | 建築遺産論    | 1 単位 | 未定集中       | 未 定  |
| 01EC520 | 美術遺産論 I  | 1 単位 | 春 AB       | 八木春生 |
| 01EC521 | 美術遺産論 II | 1 単位 | 秋 AB       | 八木春生 |
| 01EC524 | 保存科学概論   | 1 単位 | 春 AB       | 松井敏也 |
| 01EC555 | 保存科学演習   | 3 単位 | 秋 ABC 集中   | 松井敏也 |
| 01EC556 | 建築遺産演習   | 3 単位 | 2018年度開講なし | 未 定  |
| 01EC562 | 美術遺産演習   | 2 単位 | 秋 ABC 集中   | 八木春生 |

【遺産のマネージメントとプランニング分野】

| 科目番号    | 授業科目名         | 単位   | 学期                   | 教員   |
|---------|---------------|------|----------------------|------|
| 01EC518 | 文化的景観論        | 1 単位 | 春 AB                 | 黒田乃生 |
| 01EC531 | 遺産整備計画論       | 1 単位 | 春 A                  | 上北恭史 |
| 01EC533 | 遺産観光論         | 1 単位 | 秋 AB                 | 伊藤 弘 |
| 01EC559 | インタープリテーション概論 | 1 単位 | 秋 B 集中               | 武 正憲 |
| 01EC560 | プランニング演習      | 3 単位 | 春 C 夏季休業中<br>秋 AB 集中 | 伊藤 弘 |
| 01EC563 | 遺産整備計画演習      | 2 単位 | 春 AB・秋 AB 集中         | 上北恭史 |

## 4. 時間割

### ■授業時間

第1時限 8:40 — 9:55  
第2時限 10:10 — 11:25  
第3時限 12:15 — 13:30  
第4時限 13:45 — 15:00  
第5時限 15:15 — 16:30  
第6時限 16:45 — 18:00

### ■休業期間

春季休業 4月 1日 — 4月 5日  
夏季休業 8月 9日 — 9月 30日  
冬季休業 12月 27日 — 1月 6日  
春季休業 2月 16日 — 3月 31日

### ■「隨時」「応談」の科目等

#### 必修科目（随时）

世界遺産特別演習（ゼミ、1年次）·····専攻全教員  
世界遺産特別研究（修士論文、2年次）·····専攻全教員

#### 選択科目（応談）

世界遺産学外研修·····専攻専任教員

<春学期> 4月10日～9月30日

(太枠：必修、※：自然保護寄附講座(CPNC)で開講する授業)

**【春A】(4月10日～5月21日)**

|      | 月  | 火                     | 水  | 木  | 金     |
|------|--|-----------------------|--|--|-------|
| 1    |  |                       |  | 自然遺産論<br>吉田<br>人文社会学系棟2階<br>B218セミナー室(大) |       |
| 2    |  |                       | 世界遺産論<br>専攻教員全員<br>人文社会学系棟2階<br>B218セミナー室(大) |  |       |
| 3    |  | 美術遺産論Ⅰ<br>八木<br>5C402 |  | 文化遺産論<br>稻葉<br>人文社会学系棟2階<br>B218セミナー室(大) | (演習等) |
| 4    | 遺産整備計画論<br>上北<br>人文社会学系棟2階<br>B218セミナー室(大) | 文化的景観論<br>黒田<br>5C402 |  |  |       |
| 5    |  | 保存科学概論<br>松井<br>5C402 |  |  |       |
| 集中講義 | 遺産整備計画演習(上北)                               |                       |  |  |       |

**【春B】(5月22日～6月25日)**

|      | 月   | 火                     | 水  | 木  | 金     |
|------|---|-----------------------|--|--|-------|
| 1    |   |                       |  | 自然保護論(※)<br>吉田<br>人文社会学系棟2階<br>B218セミナー室(大)        |       |
| 2    |   |                       | 世界遺産論<br>専攻教員全員<br>人文社会学系棟2階<br>B218セミナー室(大) |  |       |
| 3    |   | 美術遺産論Ⅰ<br>八木<br>5C402 |  | ユネスコと<br>世界遺産条約<br>稻葉<br>人文社会学系棟2階<br>B218セミナー室(大) | (演習等) |
| 4    |   | 文化的景観論<br>黒田<br>5C402 |  |  |       |
| 5    |   | 保存科学概論<br>松井<br>5C402 |  |  |       |
| 集中講義 | 遺産整備計画演習(上北) / International Conventions for Heritage Conservation(吉田・稻葉) |                       |  |  |       |

**【春C】(7月3日～8月7日)**

|      |  |
|------|--|
| 集中講義 | プランニング演習(伊藤) / World Heritage and International Cooperation(吉田・稻葉) |
|------|--|

**【夏季休業】(8月9日～9月30日)**

|      |  |
|------|--|
| 集中講義 | 文化遺産演習(黒田) / プランニング演習(伊藤) / 自然遺産演習(吉田・武) |
|------|--|

<秋学期> 10月1日～3月31日

(※ 自然保護寄附講座(CPNC)で開講する授業)

**【秋 A】(10月1日～11月7日)**

|      | 月   | 火                                      | 水   | 木 | 金     |
|------|---|--|---|---|-------|
| 2    |   |  | 生物多様性論(※)<br>佐伯<br>人文社会学系棟2階<br>B216セミナー室(寄附講座) |   | (演習等) |
| 3    |   | 美術遺産論Ⅱ<br>八木<br>5C402                  |   |   |       |
| 4    | 遺産観光論<br>伊藤<br>人文社会学系棟2階<br>B218セミナー室(大)  | 宗教論<br>山中<br>人文社会学系棟2階<br>B218セミナー室(大) |   |   |       |
| 5    |   |  |   |   |       |
| 集中講義 | プランニング演習(伊藤) / World Heritage and Sustainability(稻葉・吉田) / 遺産整備計画演習(上北) / インタープリテーション概論(武) / Role of International Organizations and NGOs(吉田・稻葉) |  |   |   |       |

**【秋 B】(11月8日～12月19日)**

|      | 月  | 火                                      | 水   | 木 | 金     |
|------|--|--|---|---|-------|
| 2    |  |  | 生物多様性論(※)<br>佐伯<br>人文社会学系棟2階<br>B216セミナー室(寄附講座) |   | (演習等) |
| 3    |  | 美術遺産論Ⅱ<br>八木<br>5C402                  |   |   |       |
| 4    | 遺産観光論<br>伊藤<br>人文社会学系棟2階<br>B218セミナー室(大)         | 宗教論<br>山中<br>人文社会学系棟2階<br>B218セミナー室(大) |   |   |       |
| 5    |  |  |   |   |       |
| 6    |  |  |   |   |       |
| 集中講義 | プランニング演習(伊藤) / 遺産整備計画演習(上北) / 景観・緑地保全論(※)(伊藤・黒田) |  |   |   |       |

**【秋 C】(1月7日～2月14日)**

|      |   |
|------|---|
| 集中講義 | World Heritage and Civil Participation(稻葉・吉田) |
|------|---|

**【秋 ABC 集中】**

|      |  |
|------|--|
| 集中講義 | 無形遺産論(非常勤講師) / 遺産保護行政論(非常勤講師) / 遺産の保存と活用(非常勤講師)<br>/ 保存科学演習(松井) / 美術遺産演習(八木) |
|------|--|

**【春季休業】(2月16日～3月31日)**

|      |   |
|------|---|
| 集中講義 | Project Practice in World Heritage(吉田・佐伯) |
|------|---|

## 5. 履修申請の注意事項

- ・履修申請手続きは、申請期間中に TWINS (<https://twins.tsukuba.ac.jp/>) から行ってください。
- ・集中講義のうち実施予定日、講師名が未定の講義は KdB (<https://kdb.tsukuba.ac.jp/>) に表示されないことがあります。実施予定日、講師名が発表された時点で、改めて申請期間が設定されますので、告知された登録期間中に申請を行ってください。期間中に登録できなかった場合は下記の追加履修申請書を提出の上、履修してください。
- ・履修申請を忘れた場合は TWINS の「履修申請変更」から追加履修申請書を出力し、体育芸術エリア支援室の大学院教務担当窓口に提出してください。追加履修申請書には授業担当教員、指導教員、専攻長の 3 名の署名捺印が必要となりますので注意してください。

## II

博士前期課程世界遺産専攻

# 授業科目の概要

## 1. 必修科目



## 世界遺産論

World Heritage Studies

世界遺産保護の基礎となる理念と技術的体系に関する世界遺産学の総論と事例紹介を行う。また世界遺産研究に必要な研究の基本的視点について議論する。

|        |   |             |            |
|--------|---|-------------|------------|
| ■担当教員  | 世界遺産専攻専任<br>全教員   | ■担当教員所属     | 世界遺産専攻専任   |
| ■単位    | 2 単位  | ■実施学期・曜日・時限 | 春 AB、水 2・3 |
| ■教室    | 人文社会学系棟 2 階<br>B218 セミナー室(大)  | ■標準履修年次     | 1, 2 年次    |
| ■履修条件  | —   | ■評価方法       | 出席         |
| ■講義形式  | 講義 (学内)   |             |            |
| ■教育目標  | 世界遺産の保護の基盤となる理念を確立し、技術的体系を実現するという世界遺産学の総論と事例紹介を行う。また世界遺産研究に必要な研究の基本的視点について議論する。 |             |            |
| ■到達目標  | 世界遺産保護の理念の確立<br>世界遺産研究に必要な基本的視点の確立  |             |            |
| ■キーワード | 世界遺産学   |             |            |

### ■授業計画

| 回          | 担当教員  | 授業内容 |
|------------|---|------|
| 第 1 回<br>～ | 世界遺産専攻の教員全員の研究内容の紹介。遺産の評価と保存、マネジメントとプランニング、国際協力などについて討論を通じて、研究に必要な基本的視点を確立する。また最新の遺産の保護と活用の事例に関する報告を通じて研究の先端に触れる。 |      |
| 第 10 回     |   |      |

# 世界遺産特別演習

Special Seminar on World Heritage Studies

世界遺産の評価と保存、マネージメントおよび計画手法、国際協力等の研究に必要な基本的技術を習得し、修士研究の計画を進める。

|        |  |             |          |
|--------|--|-------------|----------|
| ■担当教員  | 世界遺産専攻専任全教員  | ■担当教員所属     | 世界遺産専攻専任 |
| ■単位    | 3 単位   | ■実施学期・曜日・時限 | 通年、随時    |
| ■教室    |  | ■標準履修年次     | 1 年次     |
| ■履修条件  | —  | ■評価方法       | —        |
| ■講義形式  | 演習   |             |          |
| ■教育目標  | 遺産の評価と保存、マネージメントとプランニング、国際協力に関する事例を通じて、遺産の保護と活用に関する研究をすすめる。            |             |          |
| ■到達目標  | 専門書、先行研究の論文の講読を通じて、自らの研究テーマを決定する。<br>専門書、先行研究の論文の講読を通じて、論文執筆の基礎を身につける。 |             |          |
| ■キーワード | 修士研究   |             |          |

## ■授業計画

| 回        | 担当教員 | 授業内容   |
|----------|------|--|
| 第1回<br>～ |      | 専門書、先行研究の論文の講読等を通じて、自らの研究テーマを決定するとともに、論文執筆の基礎を身につける。 |
| 第10回     |      | *2回（11月、2月頃）修士研究テーマ発表会                               |

## ■受講生に望むこと

指導教員の指導を隨時受けながら研究をすすめること。

## 世界遺産特別研究

Special Research for World Heritage Studies

世界遺産の評価と保存、マネージメントおよび計画手法、国際協力等の事例研究を通じて修士研究を進め、成果を修士論文としてまとめる。

|        |   |             |          |
|--------|---|-------------|----------|
| ■担当教員  | 世界遺産専攻専任<br>全教員   | ■担当教員所属     | 世界遺産専攻専任 |
| ■単位    | 6 単位  | ■実施学期・曜日・時限 | 通年、随時    |
| ■教室    |   | ■標準履修年次     | 2 年次     |
| ■履修条件  | —   | ■評価方法       | —        |
| ■講義形式  | 卒業論文・卒業研究等  |             |          |
| ■教育目標  | 遺産保護の事例を通じて、修士研究を進め、成果を修士論文としてまとめる。                           |             |          |
| ■到達目標  | 修士(世界遺産学)、修士(学術)にふさわしい研究を完成させる。<br>論文作成を遂行し、研究者としての基礎的能力をつける。 |             |          |
| ■キーワード | 修士論文  |             |          |

### ■授業計画

指導教員から研究方法について指導を受け、セミナーでの発表、修論中間発表、修論作成を行い、最終試験において審査を受ける。

修了に向けて主なスケジュールは以下の通りである。

11月 中間発表

12月 修士論文題目確定届

1月 学位論文提出  
〔学位論文審査願、学位論文(正1部、副2部)、論文概要(2通)、  
論文目録(2通)、履歴書(2通)〕  
論文審査専門委員会(論文審査)

2月 学内修士論文 公開発表会、修論梗概集原稿提出

### ■受講生に望むこと

指導教員の指導を隨時受けながら研究を進めること。



## II

博士前期課程世界遺産専攻

# 授業科目の概要

## 2. 選択科目



## 世界遺産学外研修 (インターンシップ)

Internship in the field of Heritage

遺産の保存と活用に関わる組織や現場において実地研修を行なう。研修にあたっては、修士論文研究の主題との関連性に留意する。

|               |        |   |   |
|---------------|--------|---|---|
| ■担当教員         | 専攻専任教員 | ■担当教員所属                                   | 世界遺産専攻専任  |
| ■単位           | 3 単位   | ■実施学期・曜日・時限                               | 通年、応談   |
| ■教室           | 学外     | ■標準履修年次                                   | 1, 2 年次   |
| ■履修条件         | —      | ■評価方法                                     | 世界遺産学外研修(インターンシップ)プログラム報告書に、プログラム指導員からの評価を記入してもらった上で提出のこと |
| <b>■参考資料</b>  |        | —   |   |
| <b>■講義形式</b>  |        | 実習・実験・実技                                  |   |
| <b>■教育目標</b>  |        | 遺産の保存と活用に関わる組織や現場において実地研修(学外インターンシップ)を行う。 |   |
| <b>■到達目標</b>  |        | 遺産の保存と活用に関わる専門的な知識と技能を習得する。               |   |
| <b>■キーワード</b> |        | 学外インターンシップ                                |   |

### ■授業計画

| 回  | 担当教員   | 授業内容   |
|----|--------|--|
| 集中 | 専攻専任教員 | 方法、書類の書式については別項「世界遺産学外研修(インターン)について」(シラバス内)を参照のこと。 |

### ■受講生に望むこと

研修にあたっては、修士論文研究のテーマとの関連性に留意し、研修の成果を修士論文研究に活かすこと。

## 無形遺産論

Intangible Heritage Studies

無形遺産の概念、保護の体制、遺産保護の事例を通して、無形遺産への理解を深め、無形遺産が持つ文化的価値について考究する。

|         |                  |                      |
|---------|------------------|----------------------|
| ■担当教員   | 非常勤講師            | ■担当教員所属              |
| ■単位     | 1 単位             | ■実施学期・曜日・時限 秋 ABC、集中 |
| ■教室     |                  | ■標準履修年次 1, 2 年次      |
| ■履修条件   | —                | ■評価方法 —              |
| ■TA, TF | TA、TF による学習補助、指導 |                      |
| ■参考資料   | —                |                      |
| ■講義形式   | 講義               |                      |
| ■教育目標   | —                |                      |
| ■到達目標   | —                |                      |
| ■キーワード  | —                |                      |

※昨年度実施例：

平成 29 年 11 月 18 日・12 月 16 日・平成 30 年 1 月 21 日

講師：文化庁文化財部伝統文化課 文化財保護調整官 宮田 繁幸氏

# 宗教論

Religious Studies

|        |  |             |               |
|--------|--|-------------|---------------|
| ■担当教員  | 中山弘  | ■担当教員所属     | 人文社会科学研究科     |
| ■単位    | 1 単位   | ■実施学期・曜日・時限 | 秋 AB、火 4      |
| ■教室    | 人文社会学系棟 2 階<br>B218 セミナー室(大)   | ■標準履修年次     | 1, 2 年次       |
| ■履修条件  | 特になし   | ■評価方法       | 出席、授業態度、課題の提出 |
| ■参考資料  | -  |             |               |
| ■講義形式  | 講義   |             |               |
| ■教育目標  | 世界遺産には宗教に関連する施設が多い。そして、それらはツーリズムと深く結びついている場合が多い。本講義は、近年、注目を集めるようになっている世界における宗教とツーリズムとの関係をめぐる研究動向を紹介しながら、日本の世界遺産を事例に両者の関係を整理・検討することにある。 |             |               |
| ■到達目標  | 日本の宗教状況に対する基本的知識の獲得。   |             |               |
| ■キーワード | 宗教、観光、世界遺産、巡礼  |             |               |

## ■授業計画

| 回  | 担当教員 | 授業内容                  |
|----|------|-----------------------|
| 1  | 中山 弘 | イントロダクション（宗教研究のアプローチ） |
| 2  | 〃    | 宗教とツーリズムをめぐる研究（1）     |
| 3  | 〃    | 宗教とツーリズムをめぐる研究（2）     |
| 4  | 〃    | 宗教とツーリズムをめぐる研究（3）     |
| 5  | 〃    | 宗教とツーリズムをめぐる研究（4）     |
| 6  | 〃    | 熊野の事例                 |
| 7  | 〃    | 熊野の事例                 |
| 8  | 〃    | 長崎の事例                 |
| 9  | 〃    | 長崎の事例                 |
| 10 | 〃    | ディスカッション（評価）          |

# 文化遺産演習

Seminar for Preservation of Cultural Heritage

世界文化遺産およびその周辺での維持管理活動の体験を通して、世界遺産保護の手法を学び、意義および問題点について考察する。

|         |  |             |                |
|---------|--|-------------|----------------|
| ■担当教員   | 黒田乃生   | ■担当教員所属     | 世界遺産専攻専任       |
| ■単位     | 2 単位   | ■実施学期・曜日・時限 | 夏季休業中、集中（9月中旬） |
| ■教室     | 学外   | ■標準履修年次     | 1, 2 年次        |
| ■履修条件   | —  | ■評価方法       | 参加とレポート        |
| ■TA, TF | TA, TF による学習補助、指導                            |             |                |
| ■参考資料   | —  |             |                |
| ■講義形式   | 演習（学外）                                       |             |                |
| ■教育目標   |  |             |                |
| ■到達目標   | 世界文化遺産およびその周辺での維持管理活動の体験を通して、世界遺産保護の手法を習得する。 |             |                |
| ■キーワード  | 世界文化遺産、マネージメント                               |             |                |

## ■授業計画

| 回          | 担当教員 | 授業内容   |
|------------|------|--|
| 1<br>集中 // | 黒田乃生 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイダンス 1 日(大学)、9 月中を予定(4 泊 5 日) 現地実習(白川郷・五箇山の合掌造り集落、現地実習後のヒアリング書起し、レポート提出)</li> <li>・日程は別途連絡</li> <li>・世界遺産地域で管理のために必要な作業や農作業を体験する</li> <li>・地域の方との交流を通して、世界遺産保護の理念と実態について考察する</li> </ul> <p>【例:2017 年度】</p> <p>場 所：白川郷・五箇山の合掌造り集落 時期:8 月 28 日～9 月 1 日</p> <p>体験内容：地域のお年寄りとの交流と聞き取り、世界遺産地域内での農作業など</p> <p>そ の 他：五箇山の方と交流会など</p> |

## ■授業外における学習方法

対象地域に関する事前学習と課題および体験終了後のレポート、ヒアリング調査の書起し

## ■受講生に望むこと

対象地域の地理と歴史、世界遺産の価値について事前学習をすること。

# 文化遺産論

Cultural Heritage Theory and Policy Studies

文化遺産の保護について、遺産の概念、保護の理念、日本及び諸外国の保護制度の概要、さらにそれらの現在に至る歴史的経緯の理解を通して、現代社会における役割、その現状と今後について考察する。

|        |  |             |                                     |
|--------|--|-------------|-------------------------------------|
| ■担当教員  | 稻葉信子   | ■担当教員所属     | 世界遺産専攻専任                            |
| ■単位    | 1 単位   | ■実施学期・曜日・時限 | 春 A、木 3・4                           |
| ■教室    | 人文社会学系棟 2 階<br>B218 セミナー室(大)   | ■標準履修年次     | 1, 2 年次                             |
| ■履修条件  | —  | ■評価方法       | 出席及びレポート提出。ディスカッションへの積極的な参加を考慮に加える。 |
| ■講義形式  | 講義   |             |                                     |
| ■教育目標  | 文化遺産保護の理念と制度について基本となる事項を理解する。  |             |                                     |
| ■到達目標  | 現代社会における文化遺産保護についての一般的なディスカッションに参加し、意見を述べることができるようになる。                 |             |                                     |
| ■キーワード | 文化遺産、文化資源、真実性、完全性、カルチュラルリソースマネジメント、無形文化遺産、文化的景観、産業遺産、文化政策、地域政策、持続可能な開発 |             |                                     |

## ■授業計画

文化遺産の保護について、遺産の概念、保護の理念、日本及び諸外国の保護制度の概要、さらにそれらの現在に至る歴史的経緯の理解を通して、現代社会における役割、その現状と今後について考察する。授業は以下のトピックに沿って進める。

| 回      | 担当教員 | 授業内容                  |
|--------|------|-----------------------|
| 第 1 回  | 稻葉信子 | 文化遺産とは何か              |
| 第 2 回  | 〃    | 文化遺産の概念と保護の理念の歴史      |
| 第 3 回  | 〃    | 何にこだわるのか? 価値と真実性      |
| 第 4 回  | 〃    | 文化遺産の保護に関する国際的な枠組みの紹介 |
| 第 5 回  | 〃    | 日本の文化財保護制度の仕組み        |
| 第 6 回  | 〃    | 諸外国の文化財保護制度の仕組み       |
| 第 7 回  | 〃    | 文化と自然を連携して—文化的景観      |
| 第 8 回  | 〃    | 文化遺産と持続可能な発展そしてツーリズム  |
| 第 9 回  | 〃    | 歴史的町並みリビングヘリテージ       |
| 第 10 回 | 〃    | 遺産保護の現在               |

# 自然遺産論

Natural Heritage Studies

自然遺産保全の基礎となる自然保護、生物多様性保全を学ぶとともに、自然遺産と関連する保護地域制度と自然遺産の関連性についても考察する。

|        |   |             |                |
|--------|---|-------------|----------------|
| ■担当教員  | 吉田正人  | ■担当教員所属     | 世界遺産専攻専任       |
| ■単位    | 1 単位  | ■実施学期・曜日・時限 | 春 A、木 1・2      |
| ■教室    | 人文社会学系棟 2 階<br>B218 セミナー室(大)  | ■標準履修年次     | 1, 2 年次        |
| ■履修条件  | とくになし   | ■評価方法       | 出席およびレポートによる評価 |
| ■参考資料  | 「世界自然遺産と生物多様性保全」地人書館<br>「生態学からみた自然保護地域とその生物多様性保全」講談社                    |             |                |
| ■講義形式  | 講義（一部ワークショップ形式の事例研究）  |             |                |
| ■教育目標  | 自然遺産の基礎となる自然保護の概念および自然遺産と国際条約の関係を理解し、国内外の自然保護の事例を通じて、自然遺産を保全するための方策を考える |             |                |
| ■到達目標  | 世界遺産条約と生物多様性条約等の国際条約との関係を理解する。<br>世界自然遺産の具体的な事例をもとに、自然保護上の課題を考察する。      |             |                |
| ■キーワード | 自然保護、自然遺産、生物多様性、国際条約、NGO  |             |                |

## ■授業計画

前半では、自然保護の歴史と概念を理解した上で、世界遺産条約と生物多様性条約等の他の国際自然保護条約との関係を理解する。後半では、国内外の自然遺産の自然保護の事例を通じて、自然遺産を保護するための制度、NGO や地域住民の役割などを考える。

| 回        | 担当教員 | 授業内容  |
|----------|------|---|
| 第 1,2 回  | 吉田正人 | 世界遺産条約・生物多様性条約の歴史と概念                        |
| 第 3,4 回  | 〃    | 世界遺産リストと危機遺産リスト                             |
| 第 5,6 回  | 〃    | 屋久島・白神山地とバッファーゾーンの必要性                       |
| 第 7,8 回  | 〃    | 知床・小笠原諸島と管理計画・モニタリングの重要性、奄美・琉球諸島の自然遺産登録の重要性 |
| 第 9,10 回 | 〃    | 自然遺産を核とした保護地域ネットワーク、国境を超えた世界遺産と国際協力         |

## ■受講生に望むこと

生態学、自然保護の専門用語も出てきますが、文系の学生にもわかりやすく説明します。授業を深く理解するためにも、わからないことがあれば積極的に質問してください。

## ■備考

自然保護寄附講座 02JZ005 とコードシェア

# 自然遺産演習

Seminar on Natural Heritage

自然遺産地域における現地調査を通じて、自然遺産地域の保全と管理、およびそれに対する地域住民や専門家の参加について学ぶ。

|        |  |             |                        |
|--------|--|-------------|------------------------|
| ■担当教員  | 吉田正人・武 正憲  | ■担当教員所属     | 世界遺産専攻専任               |
| ■単位    | 2 単位   | ■実施学期・曜日・時限 | 夏季休業中、集中               |
| ■教室    | —  | ■標準履修年次     | 1, 2 年次                |
| ■履修条件  | 「自然遺産論」を履修<br>していること   | ■評価方法       | 出席および事前学習、事後 レポートによる評価 |
| ■参考資料  | 「小笠原国立公園パークガイドー小笠原」自然公園財団<br>「小笠原自然観察ガイド」山と渓谷社   |             |                        |
| ■講義形式  | 野外演習   |             |                        |
| ■教育目標  | 自然遺産の保護について、現場での保全事例を通じて、理解するとともに、それに関わる国・自治体、地域住民、NPOなどの役割を学ぶ。                                    |             |                        |
| ■到達目標  | 自然遺産地域の管理計画、行動計画を理解する。<br>自然保護に関わる国・地方自治体、地域住民、NPO の役割を理解する。<br>自然遺産を訪れる訪問者として、どのような保全対策がとれるかを考える。 |             |                        |
| ■キーワード | 自然遺産、管理計画、外来生物、エコツーリズム   |             |                        |

## ■授業計画

世界自然遺産に登録された小笠原諸島父島を訪れ、自然保護のための管理計画・行動計画がどのように実行されているか、それに対する国・地方自治体、地域住民、NPO の役割は何か、訪問者としてどのような保全対策に協力することが可能かを考える。

| 回    | 担当教員 | 授業内容                              |
|------|------|-----------------------------------|
| 1 日目 | 吉田正人 | 東京港竹芝桟橋を出航                        |
| 2 日目 | 〃    | 小笠原諸島父島二見港着、ビジターセンター見学、小笠原村、環境省訪問 |
| 3 日目 | 〃    | 林野庁、NPO による外来種対策の見学               |
| 4 日目 | 〃    | 林野庁、NPO による外来種対策の見学               |
| 5 日目 | 〃    | エコツーリズムに参加体験、父島二見港出港              |
| 6 日目 | 〃    | 東京港竹芝桟橋に到着                        |

実施時期は 8 月～9 月を予定しています。ただし台風等で船が運行しない場合は、別の時期に延期となる場合もあります。

## ■受講生に望むこと

東京港から小笠原諸島までは、船で 24 時間かかりますので、船酔いしやすい人は酔止薬を用意する等対策をとること。小笠原諸島は思った以上に起伏があり、日差しも強いので、普段からよく歩くようにして、日焼け対策をとること。

## ■備考

自然保護寄附講座 02JZ112 とコードシェア

## 遺産保護行政論

Policy and Administrative Systems for Protection of Heritage

日本の遺産保護に関する政策、行政システムについて理解し、日本の遺産保護制度の体系や保護の方法について理解する。

|         |                   |                      |
|---------|-------------------|----------------------|
| ■担当教員   | 非常勤講師             | ■担当教員所属              |
| ■単位     | 1 単位              | ■実施学期・曜日・時限 秋 ABC、集中 |
| ■教室     | ---               | ■標準履修年次 1, 2 年次      |
| ■履修条件   | —                 | ■評価方法 出席、レポート        |
| ■TA, TF | TA, TF による学習補助、指導 |                      |
| ■参考資料   | —                 |                      |
| ■講義形式   | 講義                |                      |
| ■教育目標   | —                 |                      |
| ■到達目標   | —                 |                      |
| ■キーワード  | —                 |                      |

※昨年度実施例：

平成 29 年 10 月 19 日・10 月 20 日

文化庁文化財部記念物課世界文化遺産室 鈴木地平氏 ほか

## 遺産の保存と活用

Protection and Use of Heritage

世界文化遺産ないし関連遺産の学際研究および保存・活用の現状と課題を学び、世界遺産保護の専門家としての実践的能力を養成する。

- 担当教員 非常勤講師
- 単位 1 単位
- 教室
- 履修条件
- 参考資料
- 講義形式 講義
- 教育目標
- 到達目標
- キーワード

- 担当教員所属
- 実施学期・曜日・時限 秋 ABC、集中
- 標準履修年次 1, 2 年次
- 評価方法

※昨年度実施例：

平成 29 年 10 月 7 日・12 月 9 日・平成 30 年 2 月 3 日

内閣官房内閣参事官（元文化庁記念物課主任文化財調査官） 本中 真氏

## Heritage Theory and Policy Studies (国際遺産論)

Encompassing history, philosophy and public policies, the lecture series is about the overall picture of heritage protection in contemporary society. It deals with a range of activities from the level of international organizations including the World Heritage Convention to those of the national heritage policies of different countries.

|        |   |             |          |
|--------|---|-------------|----------|
| ■担当教員  | 稻葉信子  | ■担当教員所属     | 世界遺産専攻専任 |
| ■単位    | 1 単位  | ■実施学期・曜日・時限 | 秋 ABC、集中 |
| ■教室    | 人文社会学系棟 2 階<br>B218 セミナー室(大)  | ■標準履修年次     | 1, 2 年次  |
| ■履修条件  | —   | ■評価方法       | —        |
| ■参考資料  | —   |             |          |
| ■講義形式  | Student seminars  |             |          |
| ■教育目標  | Understanding of the overall picture of heritage protection in contemporary society   |             |          |
| ■到達目標  | Ability to handle common international discussions in heritage protection in contemporary society   |             |          |
| ■キーワード | heritage,value,authenticity,cultural-resource-anagement,living,intangible-heritage,landscape,cultural-diversity,globalization,sustainable-development |             |          |

## ■授業計画

| 回  | 担当教員  | 授業内容   |
|----|-------|--|
| 1  | Inaba | What is heritage?  |
| 2  | "     | How have heritage concepts been developed?               |
| 3  | "     | What are we concerned about? - value and authenticity    |
| 4  | "     | Introduction to international heritage laws / guidelines |
| 5  | "     | About the UNESCO World Heritage Convention               |
| 6  | "     | About the UNESCO Intangible Cultural Heritage Convention |
| 7  | "     | Linking culture and nature - Cultural landscapes         |
| 8  | "     | Heritage and sustainable development / tourism           |
| 9  | "     | Historic cities, towns and villages - living heritage    |
| 10 | "     | Integrated approach to heritage protection               |

# ユネスコと世界遺産条約

UNESCO and the World Heritage Convention

世界遺産条約について、条約の成立に至る歴史的背景を含む制度の詳細、運用の実態の分析を通して、またそれをユネスコが行う文化と自然に関わる総体的な活動の中に位置付けて理解することで、現代社会における世界遺産条約の役割、特に文化遺産・自然遺産保護の国際的な枠組みにおける条約の位置づけ、その現状と今後について考察する。

|        |  |             |                                     |
|--------|--|-------------|-------------------------------------|
| ■担当教員  | 稻葉信子   | ■担当教員所属     | 世界遺産専攻専任                            |
| ■単位    | 1 単位   | ■実施学期・曜日・時限 | 春 B、木 3・4                           |
| ■教室    | 人文社会学系棟 2 階<br>B218 セミナー室(大)                                       | ■標準履修年次     | 1, 2 年次                             |
| ■履修条件  | —  | ■評価方法       | 出席及びレポート提出。ディスカッションへの積極的な参加を考慮に加える。 |
| ■講義形式  | 講義   |             |                                     |
| ■教育目標  | 国際機関ユネスコの活動及び世界遺産条約の仕組みについて基本となる事項を理解する。                           |             |                                     |
| ■到達目標  | ユネスコ及び世界遺産条約の国際社会における意義や役割についての一般的なディスカッションに参加し、意見を述べることができるようになる。 |             |                                     |
| ■キーワード | 世界遺産、文化遺産、自然遺産、ユネスコ、国際連合、国際協力、持続可能な開発                              |             |                                     |

## ■授業計画

世界遺産条約について、条約の成立に至る歴史的背景を含む制度の詳細、運用の実態の分析を通して、またそれをユネスコが行う文化と自然に関わる総体的な活動の中に位置付けて理解することで、現代社会における世界遺産条約の役割、特に文化遺産・自然遺産保護の国際的な枠組みにおける条約の位置づけ、その現状と今後について考察する。授業は以下のトピックに沿って進める。

| 回      | 担当教員 | 授業内容                       |
|--------|------|----------------------------|
| 第 1 回  | 稻葉信子 | 世界遺産条約の概要                  |
| 第 2 回  | 〃    | ユネスコの概要                    |
| 第 3 回  | 〃    | 世界遺産条約の歴史                  |
| 第 4 回  | 〃    | 世界遺産条約の運営の実態               |
| 第 5 回  | 〃    | 世界遺産の申請・審査・登録の仕組み          |
| 第 6 回  | 〃    | 世界遺産の保全状態の審査の仕組み           |
| 第 7 回  | 〃    | ユネスコの文化と自然に関わるその他の条約とプログラム |
| 第 8 回  | 〃    | 世界遺産と地域社会                  |
| 第 9 回  | 〃    | 世界遺産と国際協力                  |
| 第 10 回 | 〃    | 世界遺産条約の今後                  |

---

## Role of International Organizations and NGOs (国際機関の役割)

---

We shall study the roles and actions of international agencies, including NGOs, which deal with the conservation of natural and cultural environment.

|        |                           |             |          |
|--------|---------------------------|-------------|----------|
| ■担当教員  | 吉田正人<br>稻葉信子              | ■担当教員所属     | 世界遺産専攻専任 |
| ■単位    | 1 単位                      | ■実施学期・曜日・時限 | 秋 A、集中   |
| ■教室    | 人文社会学系棟 2 階<br>B216 セミナー室 | ■標準履修年次     | 1, 2 年次  |
| ■履修条件  | —                         | ■評価方法       | —        |
| ■参考資料  | —                         |             |          |
| ■講義形式  | 講義と演習（英語）                 |             |          |
| ■教育目標  | —                         |             |          |
| ■到達目標  | —                         |             |          |
| ■キーワード | —                         |             |          |

(予定)

平成 30 年 10 月 20 日（土）～ 21 日（日）

Leticia Leitao 氏（IUCN, ICOMOS, ICCROM 元職員）による集中講義

■受講生に望むこと：

問題意識を持ち、積極的な姿勢で参加してください。

■備考

自然保護寄附講座 02JZ013 とコードシェア

## World Heritage and International Cooperation (世界遺産と国際協力)

Through cases of transnational cooperation, we shall learn the effects and challenges of international frameworks for cultural/natural heritage conservation.

|        |                           |             |          |
|--------|---------------------------|-------------|----------|
| ■担当教員  | 吉田正人<br>稻葉信子              | ■担当教員所属     | 世界遺産専攻専任 |
| ■単位    | 1 単位                      | ■実施学期・曜日・時限 | 春 C、集中   |
| ■教室    | 人文社会学系棟 2 階<br>B216 セミナー室 | ■標準履修年次     | 1, 2 年次  |
| ■履修条件  | —                         | ■評価方法       | —        |
| ■参考資料  | —                         |             |          |
| ■講義形式  | 講義と演習（英語）                 |             |          |
| ■教育目標  | —                         |             |          |
| ■到達目標  | —                         |             |          |
| ■キーワード | —                         |             |          |

(予定)

平成 30 年 7 月 21 日（土）～ 22 日（日）、鈴木和信氏（JICA）による集中講義

■受講生に望むこと：  
問題意識を持ち、積極的な姿勢で参加してください。

■備考  
自然保護寄附講座 02JZ014 とコードシェア

## World Heritage and Civil Participation (世界遺産と市民参加)

Through some case studies from abroad, we shall learn the role of communities in the conservation of cultural/natural heritage such as cultural landscapes.

|        |                           |             |          |
|--------|---------------------------|-------------|----------|
| ■担当教員  | 吉田正人<br>稻葉信子              | ■担当教員所属     | 世界遺産専攻専任 |
| ■単位    | 1 単位                      | ■実施学期・曜日・時限 | 秋 C、集中   |
| ■教室    | 人文社会学系棟 2 階<br>B216 セミナー室 | ■標準履修年次     | 1, 2 年次  |
| ■履修条件  | —                         | ■評価方法       | —        |
| ■参考資料  | —                         |             |          |
| ■講義形式  | 講義と演習（英語）                 |             |          |
| ■教育目標  | —                         |             |          |
| ■到達目標  | —                         |             |          |
| ■キーワード | —                         |             |          |

(予定)

Richard Dumez 氏（フランス自然史博物館）による集中講義

■受講生に望むこと：  
問題意識を持ち、積極的な姿勢で参加してください。

■備考  
自然保護寄附講座 02JZ015 とコードシェア、

## World Heritage and Sustainability (世界遺産と持続可能性)

Is it possible to establish a sustainable society through conservation of cultural and natural heritage? Through various case studies from other Continents, we shall explore future directions.

|        |                           |             |          |
|--------|---------------------------|-------------|----------|
| ■担当教員  | 吉田正人<br>稻葉信子              | ■担当教員所属     | 世界遺産専攻専任 |
| ■単位    | 1 単位                      | ■実施学期・曜日・時限 | 秋 A、集中   |
| ■教室    | 人文社会学系棟 2 階<br>B216 セミナー室 | ■標準履修年次     | 1, 2 年次  |
| ■履修条件  | —                         | ■評価方法       | —        |
| ■参考資料  | —                         |             |          |
| ■講義形式  | 講義と演習（英語）                 |             |          |
| ■教育目標  | —                         |             |          |
| ■到達目標  | —                         |             |          |
| ■キーワード | —                         |             |          |

(予定)

平成 30 年 10 月 29 日～10 月 30 日

Nigel Crawhall 氏（ユネスコ小島嶼・先住民部長）

### ■受講生に望むこと：

問題意識を持ち、積極的な姿勢で参加してください。

### ■備考

自然保護寄附講座 02JZ016 とコードシェア

## International Conventions for Heritage Conservation (国際条約論)

Through an extensive lecture, which will tackle environment, heritage conservation and development, with case studies from various countries and regions around the world, we shall learn how we continue to live with heritage, how at times we need to fight for conservation and to respect sustainable livelihoods in the rapidly changing world.

|        |                           |             |          |
|--------|---------------------------|-------------|----------|
| ■担当教員  | 吉田正人<br>稻葉信子              | ■担当教員所属     | 世界遺産専攻専任 |
| ■単位    | 1 単位                      | ■実施学期・曜日・時限 | 春 B、集中   |
| ■教室    | 人文社会学系棟 2 階<br>B216 セミナー室 | ■標準履修年次     | 1, 2 年次  |
| ■履修条件  | —                         | ■評価方法       | —        |
| ■参考資料  | —                         |             |          |
| ■講義形式  | 講義（英語）                    |             |          |
| ■教育目標  | —                         |             |          |
| ■到達目標  | —                         |             |          |
| ■キーワード | —                         |             |          |

### （予定）

平成 30 年 6 月 15 日（金）堀江正彦氏  
(筑波大学客員教授・外務省参与（地球環境問題担当大使）)  
6 月 22 日（金）香坂玲氏（東北大学教授）  
による集中講義

### ■受講生に望むこと：

問題意識を持ち、積極的な質疑応答の機会としてください。

### ■備考

自然保護寄附講座 02JZ012 とコードシェア

## Project Practice in World Heritage (プロジェクト実習)

By carrying out field studies at an identified site outside Japan, we shall learn what is actually at stake in identifying with our own eyes the issues and challenges, who are the actors, what are their respective roles, and how consensus-building is made for a chosen solution for the better of balancing heritage conservation and sustainable development.

■担当教員 吉田正人 ■担当教員所属 世界遺産専攻専任

佐伯いく代

■単位 2 単位 ■実施学期・曜日・時限 春季休業中、集中

■教室

■標準履修年次

1, 2 年次

■履修条件 正規生

■評価方法

—

■参考資料 —

■講義形式 講義・演習と実習・実験（英語）

■教育目標 —

■到達目標 —

■キーワード —

### ■授業計画

3月上旬、オーストラリア・タスマニアで実施予定。

### ■受講生に望むこと：

問題意識を持ち、積極的な姿勢で参加してください。

### ■備考

自然保護寄附講座 02JZ106 とコードシェア

## 建築遺産論

Architectural Heritage

多様な歴史的背景や立地条件に根差した建築遺産の総論を学ぶ。日本における事例を中心に、建築遺産の幅広い保存・活用の理念と技術を学ぶことで、調査研究の方法や多様な評価基準などを習得する。

|        |  |             |           |
|--------|--|-------------|-----------|
| ■担当教員  | 未定   | ■担当教員所属     | 世界遺産専攻専任  |
| ■単位    | 1 単位   | ■実施学期・曜日・時限 | 未定集中      |
| ■教室    | 人文社会学系棟2階<br>B218 セミナー室(大)   | ■標準履修年次     | 1, 2 年次   |
| ■履修条件  | —  | ■評価方法       | 授業出席と課題発表 |
| ■参考資料  | —  |             |           |
| ■講義形式  | 講義（学内）   |             |           |
| ■教育目標  | 地域に根ざし継承されてきた建造物の保全のために必要とされる調査・研究方法を学ぶ。世界遺産評価の実例から横断的な研究分野の視点と連携体制を、建築物の保全事例を通じて学ぶ。 |             |           |
| ■到達目標  | 建築遺産のおかれた立地条件や歴史背景、意匠的特徴に基づき、対象とすべき建築遺産の保全のために求められる専門分野や調査研究の手法を判定・適用する能力を身につける。     |             |           |
| ■キーワード | 建築学、都市計画、観光学   |             |           |

### ■受講生に望むこと

各自が関心をもつ建築遺産を念頭におき、講義内容を応用的に活用することを常に検討しつつ参加すること。

# 美術遺産論 I

Art Heritage I

中国で世界遺産に認定された雲岡石窟および龍門石窟を取り上げ、様々な角度から分析することで、この石窟の評価を行い、導き出されたそれぞれの特殊性を基盤として、石窟の保存を考えていきたい。

|               |       |  |   |
|---------------|-------|--|---|
| ■担当教員         | 八木春生  | ■担当教員所属  | 世界遺産専攻専任  |
| ■単位           | 1 単位  | ■実施学期・曜日・時限  | 春 AB、火 3  |
| ■教室           | 5C402 | ■標準履修年次  | 1, 2 年次   |
| ■履修条件         | なし    | ■評価方法  | 出席(30%)とレポート(70%)を総合して評価する。<br>レポートは、授業の内容を理解し、授業目標に到達していることを評価基準とする。 |
| <b>■参考資料</b>  |       | 1. 『雲岡石窟文様論』法藏館、2000 年<br>2. 『中国仏教美術と漢民族化』法藏館、2004 年<br>3. 『東洋美術大全集 中国 3 南北朝時代』小学館、2000 年                |   |
| <b>■講義形式</b>  |       | 講義（学内）   |   |
| <b>■教育目標</b>  |       | 中国で世界遺産に認定された雲岡石窟および龍門石窟を取り上げ、様々な角度から分析することで、これらの石窟の評価を行い、導き出されたそれぞれの特殊性を基盤として、石窟の保存を考える能力を養成することを目的とする。 |   |
| <b>■到達目標</b>  |       | 雲岡石窟と龍門石窟に関する基礎的な知識を有し、その評価を基盤として活用など保護の方法を自らの研究と関連して考察できるようにする。   |   |
| <b>■キーワード</b> |       | 雲岡石窟、龍門石窟  |   |
| <b>■授業計画</b>  |       | 雲岡石窟および龍門石窟について概観し、その価値を理解する。  |   |

| 回      | 担当教員 | 授業内容                    |
|--------|------|-------------------------|
| 第 1 回  | 八木春生 | 雲岡石窟の概説                 |
| 第 2 回  | 〃    | 雲岡石窟曇曜五窟について            |
| 第 3 回  | 〃    | 雲岡石窟第二期諸窟(編年)について       |
| 第 4 回  | 〃    | 雲岡石窟第二期諸窟(造営思想)について     |
| 第 5 回  | 〃    | 雲岡石窟第二期諸窟(工人系統)について     |
| 第 6 回  | 〃    | 雲岡石窟第三期諸窟について           |
| 第 7 回  | 〃    | 龍門石窟古陽洞について             |
| 第 8 回  | 〃    | 龍門石窟賓陽洞について             |
| 第 9 回  | 〃    | 龍門石窟 520 年代諸窟について       |
| 第 10 回 | 〃    | 雲岡石窟および龍門石窟の比較と、それぞれの評価 |

■授業外における学習方法 関連する文献の講読

■受講生に望むこと

中国仏教美術史に関して、興味を持つことと、積極的に作品を見ること。

## 美術遺産論Ⅱ

Art Heritage II

中国で世界遺産に認定された敦煌莫高窟、また麦積山石窟を取り上げ、様々な角度から分析することで、この石窟の評価を行い、導き出されたそれぞれの特殊性を基盤として、石窟の保存を考えていきたい。

|        |   |             |   |
|--------|---|-------------|---|
| ■担当教員  | 八木春生  | ■担当教員所属     | 世界遺産専攻専任  |
| ■単位    | 1 単位  | ■実施学期・曜日・時限 | 秋 AB、火 3  |
| ■教室    | 5C402   | ■標準履修年次     | 1, 2 年次   |
| ■履修条件  | 美術遺産論Ⅰを履修していること   | ■評価方法       | 出席(30%)とレポート(70%)を総合して評価する。レポートは、授業の内容を理解し、授業目標に到達していることを評価基準とする。 |
| ■参考資料  | 1. 『中国仏教美術の変容』法蔵館、2013 年<br>2. 『東洋美術大全集 中国 3 南北朝時代』小学館、2000 年   |             |   |
| ■講義形式  | 講義（学内）  |             |   |
| ■教育目標  | 中国で世界遺産に認定された敦煌莫高窟、また麦積山石窟を取り上げ、様々な角度から分析することで、これらの石窟の評価を行い、導き出されたそれぞれの特殊性を基盤として、自らの研究と関連し石窟の保護活用の方法を考察する能力を養うことを目的とする。 |             |   |
| ■到達目標  | 敦煌莫高窟および麦積山石窟についての一定の理解を有し、雲岡石窟や龍門石窟と異なり、国営ではない地域性の強い石窟の評価をおこない、それに適した保護活用の方法を考察できるようになる。                               |             |   |
| ■キーワード | 敦煌莫高窟、麦積山石窟   |             |   |

### ■授業計画

敦煌莫高窟や麦積山石窟のような地域性の強い石窟が、具体的に雲岡石窟や龍門石などどのような点で異なっているかを理解する。

| 回      | 担当教員 | 授業内容                           |
|--------|------|--------------------------------|
| 第 1 回  | 八木春生 | 敦煌莫高窟(北涼、北魏時代前期)               |
| 第 2 回  | 〃    | 敦煌莫高窟(北魏時代後期)                  |
| 第 3 回  | 〃    | 敦煌莫高窟(西魏時代)                    |
| 第 4 回  | 〃    | 敦煌莫高窟(北周時代、隋時代)                |
| 第 5 回  | 〃    | 敦煌莫高窟(初唐時代)                    |
| 第 6 回  | 〃    | 麦積山石窟(北魏時代)                    |
| 第 7 回  | 〃    | 麦積山石窟(西魏時代)                    |
| 第 8 回  | 〃    | 麦積山石窟(北周時代)                    |
| 第 9 回  | 〃    | 麦積山石窟(隋時代)                     |
| 第 10 回 | 〃    | 敦煌莫高窟および麦積山石窟の評価と雲岡石窟、龍門石窟との比較 |

### ■授業外における学習方法

関連する文献の講読

### ■受講生に望むこと

中国仏教美術について関心を持ち、美術館等に出かけ、自らの目で作品を見ること。

# 保存科学概論

Conservation Science

保存科学の沿革・保存科学技術のあり方・研究方法を論じ、保存修復事例をもとに文化財を取り巻く保存環境・劣化現象の解明、その保存対策の手法について解説する。

|        |  |             |          |
|--------|--|-------------|----------|
| ■担当教員  | 松井敏也   | ■担当教員所属     | 世界遺産専攻専任 |
| ■単位    | 1 単位   | ■実施学期・曜日・時限 | 春 AB、火 5 |
| ■教室    | 5C402  | ■標準履修年次     | 1、2 年次   |
| ■履修条件  | —  | ■評価方法       | 出席とレポート  |
| ■参考資料  | —  |             |          |
| ■講義形式  | 講義(学内)   |             |          |
| ■教育目標  | 保存科学の沿革・保存科学技術のあり方・研究方法を論じ、文化財を取り巻く保存環境・劣化現象の把握、その保存対策の手法について学ぶ。 |             |          |
| ■到達目標  | あらゆる材質からなる文化財の劣化を自然科学の目で捉える方法を学び、遺産の保存のために為すべきことを理解できるようになる。     |             |          |
| ■キーワード |  |             |          |

## ■授業計画

| 回    | 担当教員 | 授業内容                |
|------|------|---------------------|
| 第1回  | 松井敏也 | 文化財と科学              |
| 第2回  | 〃    | 文化財の材質              |
| 第3回  | 〃    | 保存科学とは              |
| 第4回  | 〃    | 文化財の劣化要因 1～長期的劣化要因～ |
| 第5回  | 〃    | 文化財の劣化要因 2～中期的劣化要因～ |
| 第6回  | 〃    | 文化財の劣化要因 3～短期的劣化要因～ |
| 第7回  | 〃    | 歴史的建造物における活用と保存科学   |
| 第8回  | 〃    | 遺跡の整備、活用と保存科学       |
| 第9回  | 〃    | 動産文化財における保存科学       |
| 第10回 | 〃    | まとめ～これからの保存科学とは～    |

# 保存科学演習

Seminar on Conservation Science

保存科学研究の基本である、材質分析・構造調査・保存環境の調査方法について、調査機器を用いての実地研修を行う。

|         |   |             |   |
|---------|---|-------------|---|
| ■担当教員   | 松井敏也  | ■担当教員所属     | 世界遺産専攻専任                                |
| ■単位     | 3 単位  | ■実施学期・曜日・時限 | 秋 ABC、集中                                |
| ■教室     | —   | ■標準履修年次     | 1, 2 年次                                 |
| ■履修条件   | 「保存科学概論」の授業を<br>履修すること  | ■評価方法       | 複数の演習実施現場にお<br>いて与えられた課題に対<br>する成果とレポート |
| ■TA, TF | TA、TF による学習補助、指導  |             |   |
| ■参考資料   | —   |             |   |
| ■講義形式   | 演習  |             |   |
| ■教育目標   | 保存科学研究の基本である、材質分析・構造調査・保存環境の調査方法について<br>の実地研修を行ない、調査の基礎を修得する。 |             |   |
| ■到達目標   | 保存科学的調査研究の基礎を知り、その方法論を学ぶ。                                     |             |   |

## ■授業計画

| 回 | 担当教員 | 授業内容  |
|---|------|---|
|   | 松井敏也 | 文化財の基本的材質調査方法と劣化状態の観察方法などを材料科学分析などにより実施、評価する。主に遺跡や博物館において実施し、修復現場の感覚を養う。<br>なお本年度は秋 A～C に奈良県にて石造文化財の調査を実施予定。<br>◆2017 年度の実施例<br>・中国西安調査 |

## 建築遺産演習 <2018 年度開講なし>

Seminar on Architecturel Heritage

地域の産業や生活文化の影響を受けた建築文化や歴史的建造物の保全に関する現地調査を行う。東日本大震災の被災地域を対象に、地域に根ざし継承されてきた建造物の保全へ向けた実践的方法論の探求を行う。

|        |  |             |                                  |
|--------|--|-------------|----------------------------------|
| ■担当教員  | 未定   | ■担当教員所属     | 世界遺産専攻専任                         |
| ■単位    | 3 単位   | ■実施学期・曜日・時限 | 未定                               |
| ■教室    | 学外   | ■標準履修年次     | 1, 2 年次                          |
| ■履修条件  | 建築遺産論を履修して<br>いること望ましい   | ■評価方法       | 事前学習と実習期間の熱意、事後の<br>成果物によって評価する。 |
| ■参考資料  | —  |             |                                  |
| ■講義形式  | 演習（学外）   |             |                                  |
| ■教育目標  | 東日本大震災から 6 年が経過した震災遺構の保全状況から、建築遺産の保全事業を取り巻く多様な課題を知り、対策についての実践的な学習を行う。また、地域住民との交流などを通して、地域の伝統物建造物や生活文化の在り方・継承方法を学ぶ。 |             |                                  |
| ■到達目標  | 歴史的な建築の研究や活用において幅広く課題を発見し、調査・分析する能力を養う。多様な研究分野が横断的に連携する震災遺構の保全事業における体験を通じて、地域に貢献する能力を培う。                           |             |                                  |
| ■キーワード | 建築学、農村計画、観光学   |             |                                  |

### ■受講生に望むこと

調査対象地に関心を持って情報収集・事前学習を行い、現地で積極的に交流に励むとともに、課題に対して充実した成果が上がるよう努力・工夫してほしい。

# 美術遺産演習

Seminar on Art Heritage

中国南北朝から唐時代(317~907)、中国各地で展開した仏教美術の様相に注目する。各地に現存する仏教美術作品を具体的に見ることで、それぞれの時代の地域の独自性あるいは統一的な様式、形式の成立を明らかにする。

|         |      |   |   |
|---------|------|---|---|
| ■担当教員   | 八木春生 | ■担当教員所属   | 世界遺産専攻専任  |
| ■単位     | 2 単位 | ■実施学期・曜日・時限   | 秋 ABC、集中  |
| ■教室     | —    | ■標準履修年次   | 1, 2 年次   |
| ■履修条件   | —    | ■評価方法   | 出席(30%)とレポート(70%)を総合して評価する。レポートは、授業の内容を理解し、授業目標に到達していることを評価基準とする。 |
| ■TA, TF |      | TA, TF による学習補助、指導   |   |
| ■参考資料   |      | 適宜指定  |   |
| ■講義形式   |      | 演習 (学外)   |   |
| ■教育目標   |      | 中国の仏教美術作品に触れることで、目でみるだけでは理解できない様々な情報を作品から得る方法を習得する。                 |   |
| ■到達目標   |      | 作品の基本的な取り扱い方を学び、様々な角度から作品を見る上で正面からだけ見るのとは異なる印象を持つことを体感し、その重要性を理解する。 |   |
| ■キーワード  |      | 中国仏教彫刻  |   |

## ■授業計画

| 回 | 担当教員 | 授業内容   |
|---|------|--|
|   | 八木春生 | 中国仏教彫刻を所蔵する美術館や博物館を訪問し、作品の写真の撮影の仕方や調査の仕方を学ぶ。 |

## ■授業外における学習方法

調査以前におこなう作品に関連する文献の講読

## ■受講生に望むこと

作品に対して、敬意を持って接して欲しい。

# 文化的景観論

Conservation of Cultural Landscape

文化的景観について、景観の概念の変遷、景観と社会の関係、文化的景観の定義などの基礎的な知識の習得に加え文化的景観の評価および保全に関する事例を紹介する。

|        |   |             |                       |
|--------|---|-------------|-----------------------|
| ■担当教員  | 黒田乃生  | ■担当教員所属     | 世界遺産専攻専任              |
| ■単位    | 1 単位  | ■実施学期・曜日・時限 | 春 AB、火 4              |
| ■教室    | 5C402   | ■標準履修年次     | 1, 2 年次               |
| ■履修条件  | —   | ■評価方法       | 課題提出(課題は最終回でお知らせします。) |
| ■参考資料  | —   |             |                       |
| ■講義形式  | 講義 (学内)   |             |                       |
| ■教育目標  |   |             |                       |
| ■到達目標  | 文化的景観について、景観の概念の変遷、景観と社会の関係、文化的景観の定義などの基礎的な知識を習得する。 |             |                       |
| ■キーワード | 景観、農林水産業、文化財  |             |                       |

## ■授業計画

| 回     | 担当教員 | 授業内容              |
|-------|------|-------------------|
| ガイダンス | 黒田乃生 | — 「景観」とはなにか。      |
| 第1回   | //   | 日本における景観論の流れ      |
| 第2回   | //   | 文化的景観の概念          |
| 第3回   | //   | 文化的景観と世界遺産登録 1    |
| 第4回   | //   | 文化的景観と世界遺産登録 2    |
| 第5回   | //   | 「社会」と「景観」         |
| 第6回   | //   | 景観要素と修景           |
| 第7回   | //   | 事例:(TF の講義)       |
| 第8回   | //   | 事例:森林の文化的景観       |
| 第9回   | //   | 事例:石見銀山遺跡とその文化的景観 |
| 第10回  | //   | 事例:白川郷・五箇山の合掌造り集落 |

## ■授業外における学習方法

講義で紹介する参考文献を読むこと

## ■受講生に望むこと

景観について、相対的な視点を持つこと

# 遺産整備計画論

Project Development and Management of Heritage Sites

遺産の歴史的価値を評価して未来へ残していくために、遺産の保存手法、環境整備等について論じ、社会的保護制度や遺跡、建造物の保存手法、地域再生事業などの活用計画について考究する。

|        |   |             |              |
|--------|---|-------------|--------------|
| ■担当教員  | 上北恭史  | ■担当教員所属     | 世界遺産専攻専任     |
| ■単位    | 1 単位  | ■実施学期・曜日・時限 | 春 A、月 4・5    |
| ■教室    | 人文社会学系棟 2 階<br>B218 セミナー室(大)  | ■標準履修年次     | 1, 2 年次      |
| ■履修条件  | 本授業の内容は遺産整備計画演習と関連しているので、遺産整備計画演習を履修することがぞましい。  | ■評価方法       | 出席とレポートによる評価 |
| ■参考資料  | 授業ごとに資料を PDF で事前に配布する。授業に資料を各自持参すること。<br>河村恒明他:「文化財制作概論」、東海大学出版会  |             |              |
| ■講義形式  | 講義(学内)  |             |              |
| ■教育目標  | 本授業は文化遺産を中心に、保護制度と遺産価値の理解を通して、適切な保護の方法と利活用の手法について計画し、事業を遂行するための基本的な考え方を学ぶ。                                    |             |              |
| ■到達目標  | 遺産保護制度や条例の理解および保護計画事例を把握し、遺産の持つ歴史的価値に基づいた保護手法について評価、判断ができる能力を身につける。また遺産の社会的活用について理解し、具体的な活用案を提案していく計画能力を重視する。 |             |              |
| ■キーワード | 文化財保護法、伝統的建造物群保存地区、木造建造物の保存、古都保存法、遺産の理解と解説  |             |              |

## ■授業計画

| 回      | 担当教員 | 授業内容                      |
|--------|------|---------------------------|
| 第 1 回  | 上北恭史 | 遺産整備計画に期待される役割            |
| 第 2 回  | 〃    | 遺産保護の枠組みと規制               |
| 第 3 回  | 〃    | 伝統的建造物群保存地区の保存体制、都市計画との連携 |
| 第 4 回  | 〃    | 木造建造物の保存と歴史的価値            |
| 第 5 回  | 〃    | 遺産地区周辺の景観コントロール、古都保存法の事例  |
| 第 6 回  | 〃    | 世界遺産地区保存のマネージメント体制        |
| 第 7 回  | 〃    | 遺産保存と国際協力                 |
| 第 8 回  | 〃    | 歴史的建造物群の調査手法              |
| 第 9 回  | 〃    | 遺産の理解と解説                  |
| 第 10 回 | 〃    | 近代建造物の保存の事例               |

## ■授業外における学習方法

実際の遺産保存・活用事例は遺産整備計画演習で確認する。本講義によって得られた知識と関連させて演習に望むことが望ましい。

## ■受講生に望むこと

遺産保護には文化財保護法の他、都市計画や景観保護制度も関連している。また日本史や建築史の基礎力は遺産の理解に必要である。これらの基礎学力を文献等で事前に学習しておくことがぞましい。

# 遺産観光論

Heritage Tourism

観光に関する用語や意義、課題等に関して概説を行い、利用と保護が同時に求められる、自然遺産および文化遺産を活かし続ける観光のあり方や考え方について考察する。

|        |   |             |               |
|--------|---|-------------|---------------|
| ■担当教員  | 伊藤 弘  | ■担当教員所属     | 世界遺産専攻専任      |
| ■単位    | 1 単位  | ■実施学期・曜日・時限 | 秋 AB、月 4      |
| ■教室    | 人文社会学系棟 2 階<br>B218 セミナー室(大)                | ■標準履修年次     | 1, 2 年次       |
| ■履修条件  | —   | ■評価方法       | 課題(レポート)、出席状況 |
| ■参考資料  | 講義内で紹介                                      |             |               |
| ■講義形式  | 講義  |             |               |
| ■教育目標  | 自然遺産・文化遺産を資源とした文化観光方策のあり方を理解する。             |             |               |
| ■到達目標  | 自然遺産・文化遺産を資源とした現状の観光に対して、課題を見出すことができるようになる。 |             |               |
| ■キーワード | 自然遺産・文化遺産、観光資源、イメージ・メディア、風景・景観              |             |               |

## ■授業計画

| 回      | 担当教員 | 授業内容          |
|--------|------|---------------|
| 第 1 回  | 伊藤 弘 | 遺産観光とは(ガイダンス) |
| 第 2 回  | 〃    | 観光の歴史         |
| 第 3 回  | 〃    | 観光資源          |
| 第 4 回  | 〃    | イメージ・メディア     |
| 第 5 回  | 〃    | 観光欲求・行動       |
| 第 6 回  | 〃    | 空間と景観         |
| 第 7 回  | 〃    | 観光政策・行政       |
| 第 8 回  | 〃    | 観光と地域づくり      |
| 第 9 回  | 〃    | 観光計画          |
| 第 10 回 | 〃    | 事例紹介          |

## ■授業外における学習方法

観光地において、対象地の歴史・文化を意識しながら観光体験する。

## ■受講生に望むこと

自然遺産・文化遺産を活用した観光地を訪れ、批判的な態度で観光体験をしてみてください。

# インタープリテーション概論

Heritage Interpretation

自然遺産および文化遺産の価値を訪問者にどのように伝えるのか、その技術や伝えるべき対象とする価値の捉え方について、実際の事例を通して考察する。

|        |   |             |            |
|--------|---|-------------|------------|
| ■担当教員  | 武 正憲  | ■担当教員所属     | 世界遺産専攻専任、他 |
| ■単位    | 1 単位  | ■実施学期・曜日・時限 | 秋 A、集中     |
| ■教室    | 人文社会学系棟 2 階<br>B216 セミナー室                                       | ■標準履修年次     | 1, 2 年次    |
| ■履修条件  | —   | ■評価方法       | 課題         |
| ■参考資料  | 講義内で紹介  |             |            |
| ■講義形式  | 講義  |             |            |
| ■教育目標  | 自然遺産・文化遺産の価値を捉え、それを伝える技術を理解する。<br>遺産の活用におけるインターパリターの果たす役割を理解する。 |             |            |
| ■到達目標  | インターパリテーションプログラムを提案できるようになる。                                    |             |            |
| ■キーワード | インターパリター、価値、役割  |             |            |

## ■授業計画

集中講義により、大きく前半と後半に講義内容を分ける。前半はインターパリテーションに関する歴史や思想、技術を考える。

後半は遺産活用においてインターパリテーションを担うインターパリターがどのような役割を果たすのか、事例を交えながら考察する。

\*第1回 講義(人文社会学系棟 2 階 B216 セミナー室)、第2回以降 現地視察

| 回   | 担当教員 | 授業内容                   |
|-----|------|------------------------|
| 第1回 | 武 正憲 | 遺産の活用におけるインターパリテーション   |
| 第2回 | "    | 遺産活用におけるインターパリターの果たす役割 |

## ■授業外における学習方法

実際のガイドプログラムへの参加

## ■受講生に望むこと

色々な場所での体験プログラム(ガイドプログラムに限らない)に参加すること

## ■備考

自然保護寄附講座 02JZ023 とコードシェア

# プランニング演習

Seminar For Resource Use Planning

自然および文化遺産の持続的な利活用方策に関して、特定の資源を対象に、課題の整理からテーマの設定、計画案の策定に至る一連の作業を体験し、計画の考え方や作業の流れを理解する。

|        |   |             |                            |
|--------|---|-------------|----------------------------|
| ■担当教員  | 伊藤 弘  | ■担当教員所属     | 世界遺産専攻専任                   |
| ■単位    | 3 単位  | ■実施学期・曜日・時限 | 春 C・夏季休業中・秋 AB 、集中         |
| ■教室    | —   | ■標準履修年次     | 1, 2 年次                    |
| ■履修条件  | 遺産観光論を履修  | ■評価方法       | 演習で作成した計画報告書。<br>プレゼンテーション |
| ■参考資料  | —   |             |                            |
| ■講義形式  | 演習  |             |                            |
| ■教育目標  | 観光やレクリエーションの観点から、遺産に関する諸条件の把握・整理の考え方や手法を学ぶ。<br>特定の地域における持続可能な「観光計画」検討・立案の過程を理解する。 |             |                            |
| ■到達目標  | 各種観光計画の内容を評価できるようになる。<br>観光計画を提案できるようになる。   |             |                            |
| ■キーワード | 観光、GIS、計画、プレゼンテーション   |             |                            |

## ■授業計画

大きく前半と後半に分けて行う。前半は観光の観点から、対象となる遺産資源について現状分析を文献および GIS を用いて行う。  
後半は課題抽出から目標設定・計画立案の作業を行い、計画案をプレゼンテーションする。

## ■授業外における学習方法

遺産観光論の履修、インタープリテーション概論の履修

## ■受講生に望むこと

GIS に慣れておくと作業がしやすくなる(本演習は GIS を使うことが目的ではないが)。

# 遺産整備計画演習

Seminar on Project Development and Management of Heritage Sites

遺跡や歴史保存地区などで実施されている遺産保護・活用事例に触れ、保存事業や地域再生、観光事業について考察を行い、遺産の保護と活用計画の立案について習得する。

|        |  |             |              |
|--------|--|-------------|--------------|
| ■担当教員  | 上北恭史   | ■担当教員所属     | 世界遺産専攻専任     |
| ■単位    | 2 単位   | ■実施学期・曜日・時限 | 春 AB・秋 AB、集中 |
| ■教室    | 学外   | ■標準履修年次     | 1, 2 年次      |
| ■履修条件  | 遺産整備計画論の履修者  | ■評価方法       | 出席とレポート      |
| ■参考資料  | 川村恒明他：「文化財政策概論」、東海大学出版会<br>大和智他：「歴史ある建物の活かし方」、学芸出版社<br>その他授業の進行に応じて配布する。                         |             |              |
| ■講義形式  | 演習（学外）   |             |              |
| ■教育目標  | 遺跡や歴史保存地区で行われている保存活動の実例について学び、保存や再生、活用方法について詳しく考察を行う。さらに遺産整備計画の方法論を習得する。                         |             |              |
| ■到達目標  | 遺産保存の実例に触れ、法律、条例、保存計画等の保存制度を手がかりに、遺産保護の具体的手法について把握する。また保護されている遺産の状況を分析し、保護における問題点や利用の手法について把握する。 |             |              |
| ■キーワード | 保存計画、修理と整備、遺産の活用、保存調査、利活用  |             |              |
| ■授業計画  |  |             |              |

| 回             | 担当教員 | 授業内容                             |
|---------------|------|----------------------------------|
| 平成 29 年度の演習事例 |      |                                  |
|               | 上北恭史 | 伝統的木造建造物の理解と実測(つくば市さくら民家園旧横田家住宅) |
| 〃             |      | 遺跡・遺産整備手法の実例(国指定史跡小田城跡、平沢官衙遺跡)   |
| 〃             |      | 資料から探す歴史的遺構(土浦市中条地区)             |
| 〃             |      | 伝統的建造物群保存地区の見学(川越重要伝統的建造物群保存地区)  |
| TF            |      | 産業遺産の保存活用事例の見学(旧三河島汚水処理場)        |

## ■授業外における学習方法

演習は様々な形式の遺産の保護、修理現場で行われる。演習先の遺産について、事前に歴史的背景、遺産の価値、遺産保護の実態について把握しておく必要がある。文献等で事前学習をしておかなければならない。

## ■受講生に望むこと

本演習は、文化遺産保護・修理の現場で行われる。文化遺産を傷つけず、安全な服装で参加しなければならない。ヒールの高い靴、裾を引きずるズボンは文化遺産を傷つけるために、このような服装は避けること。また肌を露出させないようにし、帽子をかぶることが望ましい。

### Ⅲ

# 世界遺産学外研修 (インターン)について



# 世界遺産学外研修(インターン)について

## (1) 事前準備

- ① インターンに行く場合には必ず事前に指導教員に相談してください。
- ② 受け入れ先によっては正式な契約書、誓約書などが必要となります。紹介者から確認してもらい、必要な場合は指導教員まで申し出てください。
- ③ インターンに行く前に学生保険に入ってください。（保険に関しては体芸支援室の学生支援係にお問い合わせください。）
- ④ 先方担当者に評価書（書式2）を記入・提出していくことになりますので、あらかじめ記入書式があることをお伝えしておいてください。

## (2) インターン中

- ① 世界遺産学外研修（インターンシップ）プログラム報告書（書式1）に必要事項を自分で記入し、担当者のサインをもらってください。
- ② インターンが終わったら、担当者に世界遺産学外研修（インターンシップ）プログラム評価書及び修了証明書（書式2）に総合評価（A～D）と所見の記入、修了証明のサインを頂いてください。

## (3) 修了後

指導教員、紹介教員に報告し、報告書（書式1）と評価書（書式2）をカリキュラム担当教員まで提出してください。

## (4) これまでの受け入れ先、紹介者例

（そのほかにも様々な機関でインターンをしています。詳細はカリキュラム担当教員まで。）

| 受け入れ先                    | 内容                                   | 紹介者         |
|--------------------------|--------------------------------------|-------------|
| ユネスコアジア文化センター文化遺産保護協力事務所 | アジア太平洋地域を対象とした文化遺産の保護・調査・修復の研修における補佐 | 平成17年度から引継ぎ |
| 国際航業                     | 遺跡整備の国際協力事業                          | 上北          |
| Bangkok UNESCO 事務所       | ユネスコ文化遺産プログラムの業務補助                   | 上北          |
| TBS テレビ                  | TBS「世界遺産」番組製作現場を学ぶ                   | 上北          |
| 白川村教育委員会                 | 海外からの来客対応、業務補助                       | 黒田          |
| 白川村（社）ホワイエ               | 中長期滞在による観光、景観保全の活動                   | 黒田          |
| （独）森林総合研究所               | 森林景観に関する調査研究業務補助                     | 黒田          |
| （財）日本交通公社                | 観光関係データベース作成等                        | -           |
| 東京国立博物館                  | 保存環境、保存修復に関する業務補助                    | 松井          |

## 世界遺産学外研修（インターンシップ）プログラム報告書

プログラム指導担当者の検印

(印)

|               |  |
|---------------|--|
| 学生氏名          | 筑波大学大学院人間総合科学研究科博士前期課程世界遺産専攻<br>学籍番号<br>氏名 |
| 担当教員          | 氏名   |
| 受入機関名         |  |
| 期間            | 平成 年 月 日 一 月 日                             |
| 受入機関指導責任者     | 部署名<br>氏名                                  |
| プログラムテーマ      |  |
| スケジュール<br>月 日 | プログラム内容（概要）                                |

## 世界遺産学外研修（インターンシップ）プログラム評価書及び修了証明書

|                         |    |   |            |           |           |          |   |
|-------------------------|----|---|------------|-----------|-----------|----------|---|
| 受入機関名                   |    |   |            |           |           |          |   |
| 実習期間                    | 平成 | 年 | 月          | 日         | 一         | 月        | 日 |
| 学生氏名                    |    |   |            |           |           |          |   |
| 総合評価                    |    |   | A 100~80 点 | B 79~70 点 | C 69~60 点 | D 59 点以下 |   |
| 所見                      |    |   |            |           |           |          |   |
| インターンシップ制度の改善点・大学への要望など |    |   |            |           |           |          |   |

上記のとおり世界遺産学外研修（インターンシップ）プログラムを修了したことを証明します。

平成 年 月 日

プログラム指導担当者

氏名 \_\_\_\_\_ 印



# IV

博士後期課程世界文化遺産学専攻

## 履修・授業科目の概要



# 1. 履修方法

人間総合科学研究科 世界文化遺産学専攻（博士後期課程）

## 【履修方法・修了要件】

| 科目区分 | 科目群 | 条件又は科目名等     | 修得単位数 |
|------|-----|--------------|-------|
| 専門科目 |     | 各自の専門領域の特別研究 | 3     |
|      |     | 修了単位数        | 3     |

- 上表に基づき 3 単位以上を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。
- 必要に応じて、指導教員と副指導教員が指定する科目等（本専攻又は他研究科・他専攻、学群の授業科目）を履修すること。

# 2. 履修申請の注意事項

- 履修申請は申請期間中に TWINS を利用して行ってください。
- 集中講義のうち実施予定日、講師名が未定の講義は KdB に表示されないことがあります。実施予定日、講師名が発表された時点で、改めて申請期間が設定されますので、告知された登録期間中に申請を行ってください。期間中に登録できなかった場合は下記の追加履修届を提出の上、履修してください。

※履修申請を忘れた場合は TWINS から追加履修申請書を出力し、体育芸術エリア支援室の大学院教務担当まで提出してください。追加履修申請書には授業担当教員、指導教員、専攻長の 3 名の署名捺印が必要となりますので注意してください。

## 文化遺産原論特別研究

Advanced Research in Philosophical and Ideological Studies of Cultural Heritage

記念物一般と世界遺産に関する思想史的調査を通じて、これらの思想の哲学的美学的基盤について考察し、研究者に必要な専門的知識の育成を行う。

|        |   |             |                 |
|--------|---|-------------|-----------------|
| ■担当教員  | 専攻専任教員  | ■担当教員所属     | 世界文化遺産学<br>専攻専任 |
| ■単位    | 3 単位  | ■実施学期・曜日・時限 | 通年随時            |
| ■教室    |   | ■標準履修年次     | 1~3 年次          |
| ■履修条件  | —   | ■評価方法       |                 |
| ■参考資料  | —   |             |                 |
| ■講義形式  | その他   |             |                 |
| ■教育目標  | 記念物一般と世界遺産に関する思想史的調査を通じて、これらの思想の哲学的美学的基盤について考察し、研究者に必要な専門的知識の育成を行う。 |             |                 |
| ■到達目標  | 記念物一般と世界遺産に関する思想を哲学的美学的に考察する研究者として必要な能力の習得。                         |             |                 |
| ■キーワード | —   |             |                 |

# Advanced Research in Cultural Heritage Theory and Policy Studies

(文化遺産保護特別研究)

Through seminars and research on international comparative studies on theories and policies for cultural heritage protection, this Doctoral research program aims at developing the knowledge required for advanced researchers in the field.

|        |      |             |                 |
|--------|------|-------------|-----------------|
| ■担当教員  | 稻葉信子 | ■担当教員所属     | 世界文化遺產学<br>専攻専任 |
| ■単位    | 3 単位 | ■実施学期・曜日・時限 | 通年随時            |
| ■教室    | —    | ■標準履修年次     | 1~3 年次          |
| ■履修条件  | —    | ■評価方法       |                 |
| ■参考資料  | —    |             |                 |
| ■講義形式  | —    |             |                 |
| ■教育目標  | —    |             |                 |
| ■到達目標  | —    |             |                 |
| ■キーワード | —    |             |                 |

# 文化観光特別研究

Advanced Research in Cultural Tourism

自然遺産・文化遺産およびその周辺環境を対象とした、資源化および利活用方策について、現地調査および文献調査に基づいた分析の指導および演習を行う。

|        |                              |             |                 |
|--------|------------------------------|-------------|-----------------|
| ■担当教員  | 伊藤 弘                         | ■担当教員所属     | 世界文化遺産学<br>専攻専任 |
| ■単位    | 3 単位                         | ■実施学期・曜日・時限 | 通年随時            |
| ■教室    |                              | ■標準履修年次     | 1~3 年次          |
| ■履修条件  | —                            | ■評価方法       | —               |
| ■参考資料  | —                            |             |                 |
| ■講義形式  | その他                          |             |                 |
| ■教育目標  | 研究指導や現地での演習を通して研究遂行能力を身につける。 |             |                 |
| ■到達目標  | 課題抽出、研究の目的および方法の設定 資源活用計画の立案 |             |                 |
| ■キーワード | 観光、資源、計画論                    |             |                 |

## ■授業外における学習方法

積極的にフィールドに出かけ、体験したことを自分なりに理解する。

## ■受講生に望むこと

- ・フィールドでは、批判的な態度でものごとをみてみること。
- ・関連する文献は取捨選択する前にとりあえず色々と読み、自分なりに理解してみること。

## 遺産整備計画特別研究

Advanced Research in Project Management of Heritage Sites

本授業は、遺産整備計画に関する研究について論じ、最新の研究論文の理解、研究の体系的位置づけ、研究目的の妥当性と方法論の構築、調査によるデータ収集と分析を通して、研究の実施・遂行能力を養成する。

|        |  |             |                 |
|--------|--|-------------|-----------------|
| ■担当教員  | 上北恭史   | ■担当教員所属     | 世界文化遺産学<br>専攻専任 |
| ■単位    | 3 単位   | ■実施学期・曜日・時限 | 通年随時            |
| ■教室    |  | ■標準履修年次     | 1~3 年次          |
| ■履修条件  | —  | ■評価方法       | 授業への参加と学会発表     |
| ■参考資料  | —  |             |                 |
| ■講義形式  | その他  |             |                 |
| ■教育目標  | 研究指導、ケーススタディをとおして博士研究の遂行能力をつける。  |             |                 |
| ■到達目標  | 授業はゼミ形式で行い、研究の問題点について議論を行う。既存研究の位置づけと方法論の理解、研究目的を実現するための手法構築、フィールドからのデータ採取と分析、を通して、研究論文の作成を行う。 |             |                 |
| ■キーワード | 遺産整備計画、建造物遺産の保存、歴史的地区、遺産の防災、遺産活用、地域再生  |             |                 |

### ■授業計画

| 回   | 担当教員 | 授業内容   |
|-----|------|--|
| 不定期 | 上北恭史 | 本授業で議論するテーマは次にあげられる。「国際協力における歴史的地区の保存」、「歴史的建造物の防災」、「サイトミュージアム論」、「住民主導型遺跡保護手法」、「民族と歴史的地区の保存」など。 |

### ■授業外における学習方法

受講者の研究テーマに沿って資料収集を実施する。

### ■受講生に望むこと

専門家として遺産保護、保護制度枠組み、修理と整備手法、住民参加による遺産保護事例について、最新の事例を把握しておく必要がある。

## 文化的景観特別研究

Advanced Research in Cultural Landscape

文化的景観を対象に、フィールドワークによる事例の探求と、文献資料による概念の考究を同時にすすめ、調査分析および論文執筆に関する指導助言を行う。

|        |   |             |                 |
|--------|---|-------------|-----------------|
| ■担当教員  | 黒田乃生  | ■担当教員所属     | 世界文化遺産学<br>専攻専任 |
| ■単位    | 3 単位  | ■実施学期・曜日・時限 | 通年随時            |
| ■教室    |   | ■標準履修年次     | 1~3 年次          |
| ■履修条件  | —   | ■評価方法       | —               |
| ■参考資料  | —   |             |                 |
| ■講義形式  | その他   |             |                 |
| ■教育目標  | 文化的景観を対象に、フィールドワークによる事例の探求と、文献資料による概念の考究を同時にすすめ、調査分析および論文執筆に関する指導助言を行う。 |             |                 |
| ■到達目標  | 学会論文(審査付き)および学会発表   |             |                 |
| ■キーワード | —   |             |                 |

## 文化遺産建築特別研究

Advanced Research in Architectural Heritage

日本やアジアを中心とした建築・都市遺産に関する建築史、修復史に関する事例研究を講述し、建築を対象とした遺産保護の理念的展開について論ずる。特定課題を設定し、研究者としての能力の養成を行う。

|        |  |             |                 |
|--------|--|-------------|-----------------|
| ■担当教員  | 専攻専任教員   | ■担当教員所属     | 世界文化遺産学<br>専攻専任 |
| ■単位    | 3 単位   | ■実施学期・曜日・時限 | 通年随時            |
| ■教室    |  | ■標準履修年次     | 1~3 年次          |
| ■履修条件  | —  | ■評価方法       | —               |
| ■参考資料  | —  |             |                 |
| ■講義形式  | その他  |             |                 |
| ■教育目標  | 日本やアジアを中心とした建築・都市遺産に関する建築史・修復史に関する事例研究を講述し、建築を対象とした遺産保護の理念的展開について論ずる。特定課題を設定し、研究者としての能力の養成を行う。<br>対象とする歴史的建築・都市を取り巻く様々な研究領域を総合的に考察することに加え、現在に対して意義ある提案がされるべきものとする。 |             |                 |
| ■到達目標  | 文化遺産の保存や活用を必要としている実対象において、課題を自らが発見し、その問題に対して積極的にアプローチして、個別なケースに適した実践的な解法を構築する。また、そうした解法が有する普遍的な方法論や理論を引き出すことを目標とする。  |             |                 |
| ■キーワード | —  |             |                 |

# 文化遺産美術特別研究

Advanced Research Cultural Heritage of Art

本授業では、敦煌莫高窟や龍門石窟など世界遺産に登録されている遺跡のみならず、東洋の仏教関連遺跡を取り上げ、それらが有する価値について評価することを目的とする。

|        |   |             |                 |
|--------|---|-------------|-----------------|
| ■担当教員  | 八木春生  | ■担当教員所属     | 世界文化遺産学<br>専攻専任 |
| ■単位    | 3 単位  | ■実施学期・曜日・時限 | 通年随時            |
| ■教室    |   | ■標準履修年次     | 1~3 年次          |
| ■履修条件  | —   | ■評価方法       | レポート            |
| ■参考資料  | —   |             |                 |
| ■講義形式  | その他   |             |                 |
| ■教育目標  | 本授業では、敦煌莫高窟や龍門石窟など世界遺産に登録されている遺跡のみならず、東洋の仏教関連遺跡を取り上げ、それらが有する価値について評価することを目的とする。 |             |                 |
| ■到達目標  | 博士号を取得できるレベルの学力を有し、学会で発表し、論文を専門誌に発表をできるようとする。                                   |             |                 |
| ■キーワード | 中国仏教美術  |             |                 |

## 保存修復科学特別研究

Advanced Research Conservation Science

各種の文化遺産や博物館資料等に対し、自然科学的手法や歴史的伝統技術、材料を用いて劣化防止および保存処理を実施する技術の開発、適用、評価・検証について指導、演習を行う。

|        |      |             |                 |
|--------|------|-------------|-----------------|
| ■担当教員  | 松井敏也 | ■担当教員所属     | 世界文化遺産学<br>専攻専任 |
| ■単位    | 3 単位 | ■実施学期・曜日・時限 | 通年随時            |
| ■教室    |      | ■標準履修年次     | 1~3 年次          |
| ■履修条件  | —    | ■評価方法       | —               |
| ■参考資料  | —    |             |                 |
| ■講義形式  | その他  |             |                 |
| ■教育目標  | —    |             |                 |
| ■到達目標  | —    |             |                 |
| ■キーワード | —    |             |                 |

## 自然保护特別研究

Advanced Research in Natural Heritage Theory and Policy Studies

自然保护と生物多様性保全に関する研究、とりわけ保護地区(世界自然遺産・ユネスコエコパーク)、野生生物保護(希少種保全・外来種問題)、環境アセスメント(生物多様性・自然とのふれあい)等における事例研究を通じて、世界自然遺産の保全と管理のあり方を考究する。

|        |   |             |                            |
|--------|---|-------------|----------------------------|
| ■担当教員  | 吉田正人  | ■担当教員所属     | 世界文化遺産学<br>専攻専任            |
| ■単位    | 3 単位  | ■実施学期・曜日・時限 | 通年随時                       |
| ■教室    |   | ■標準履修年次     | 1~3 年次                     |
| ■履修条件  | —   | ■評価方法       | 随時、レポート、中間報告等を提出してもらい評価する。 |
| ■参考資料  | —   |             |                            |
| ■講義形式  | その他   |             |                            |
| ■教育目標  | 自然保护、生物多様性保全に関わるさまざまな政策に関して、保護地域、種の保存と外来種対策、自然再生、環境影響評価、環境倫理、環境教育など特定の課題を選び、国内外の最新の動向を研究を通じて、自然遺産保護の保全に携わる高度な専門性を有した研究者、政策立案者としての能力を育成する。 |             |                            |
| ■到達目標  | ・自然保护、生物多様性保全に関わる特定課題の選択とその最新動向の把握<br>・上記にかかわる現代的な課題の抽出とその解決策の提案  |             |                            |
| ■キーワード | 自然保护、生物多様性、保護地域、種の保存、外来種対策、自然再生、環境影響評価、環境倫理、環境教育  |             |                            |

### ■授業計画

履修者の選択したテーマに応じて、随時、不定期に実施する。

### ■授業外における学習方法

最新動向の把握にあたっては、文献研究のみならず、研究発表会、シンポジウム等に参加し、常に最新情報を収集するよう努めること。

### ■受講生に望むこと

履修者のテーマに応じて、既往研究、関連研究については十分な研究をした上で、独自の研究アプローチを検討するよう努めること。

V

自然保護  
サードィフィケート  
プログラム  
(CPNC)



# 1. 履修申請の注意事項

- ・自然保護サーティフィケートプログラム（以下 CPNC）は、生命環境科学研究科との合同で行われる自然保護寄附講座の一部であり、日本語の授業と英語の授業があります。
- ・博士課程前期・後期、いずれの学生も履修可能です。
- ・CPNC の履修希望者は、4月に人文社会学系棟・セミナー室寄附講座において履修説明会を行いますので、いずれかに必ず出席してください。日程が決まり次第、ポスターやホームページにてお知らせします。（<http://www.conservation.tsukuba.ac.jp/>）希望者が多数の場合は、選抜の上、履修者を決定します。
- ・CPNC 科目（すべて選択科目、計 10 単位）、実習およびインターンシップ（計 5 単位）の合計 15 単位取得により、CPNC 修了証を授与されます。ただし、CPNC の単位は、世界遺産専攻の学位取得に必要な全単位に加えて取得しなければならないものです。CPNC 授業の履修希望者は、無理のない履修計画を立てられるよう、履修申請前に CPNC プログラム・コーディネーターに相談してください。
- ・履修申請は申請期間中に TWINS を利用して行なってください。
- ・集中講義のうち実施予定日、講師名が未定の講義は、KdB に表示されないことがあります。実施予定日、講師名が発表された時点で、改めて申請期間が設定されますので、告知された登録期間中に申請を行ってください。期間中に登録できなかった場合は下記の追加履修届を提出の上、履修してください。

※履修申請を忘れた場合は TWINS から追加履修申請書を出力し、体育芸術エリア支援室の大学院教務担当まで提出してください。追加履修申請書には授業担当教員、指導教員、専攻長の 3 名の署名捺印が必要となりますので注意してください。

## 2. 履修方法

自然保護寄附講座 自然保護サーティフィケートプログラム (CPNC)

### 【履修方法・修了要件】

| 科目群         | 条件    | 修得単位数 |
|-------------|-------|-------|
| 講義          | 選択必修  | 10    |
| 実習・インターンシップ | 選択必修  | 5     |
|             | 修了単位数 | 15    |

- ・それぞれの所属する研究科組織の修了要件を全て満たすこと。
- ・履修申請をするにあたっては、学修計画について事前にプログラム・コーディネーター等の指導を受けること。

### 3. 授業科目の概要

<授業>

| 科目番号<br>(コードシェア)   | 科目名                              | 単位 | 標準履修年     | 学期   | 曜時限  | 教室                       | 担当教員                 | 授業概要  |
|--------------------|----------------------------------|----|-----------|------|------|--------------------------|----------------------|---|
| 02JZ001            | 自然保護論                            | 1  | 1~5年<br>次 | 春B   | 木1、2 | セミナー室<br>(大)B218         | 吉田正人                 | 自然保護の歴史と概念、生物種の保護、生態系の管理、保護地域の設定                            |
| 02JZ002            | 地球環境論                            | 1  | 1~5年<br>次 | 秋AB  | 金3   | セミナー室寄<br>附講座B216        | 指田勝男                 | 地球の歴史と環境保全、生命維持の基礎となる地球環境の保全                                |
| 02JZ003            | 保護地域管理論                          | 1  | 1~5年<br>次 | 秋AB  | 火3   | セミナー室寄<br>附講座B216        | 伊藤太一                 | 保護地域の歴史と概念、学術的保護地域、国立公園、世界保護地域データベース(WDPA)、Protected Planet |
| 02JZ004            | 景観・緑地保全論                         | 1  | 1~5年<br>次 | 秋ABC | 随時   | セミナー室寄<br>附講座B216、<br>学外 | 伊藤 弘<br>黒田乃生         | 景観保護地域(ガテゴリーV)、自然景観、文化的景観、農業景観、都市緑地保全、Satoyamaイニシアチブ        |
| 02JZ005<br>01EC565 | 自然遺産論                            | 1  | 1~5年<br>次 | 春A   | 木1、2 | セミナー室<br>(大)B218         | 吉田正人                 | 世界遺産の歴史と概念、自然遺産のクライテリア、世界遺産リストとギャップ分析、危機遺産リスト等              |
| 02JZ006            | 生物多様性論                           | 1  | 1~5年<br>次 | 秋AB  | 水2   | セミナー室寄<br>附講座B216        | 佐伯いく代                | 生物種・生態系・遺伝子レベルの自然保護、生態系サービスの維持                              |
| 02JZ007            | Wildlife Management<br>(English) | 1  | 1~5年<br>次 | 秋AB  | 火4   | セミナー室寄<br>附講座B216        | 佐方啓介                 | 希少野生生物種の保護、野生鳥獣の保護管理、外来生物のコントロール                            |
| 02JZ008            | モニタリング調査技術                       | 1  | 1~5年<br>次 | 秋C   | 集中   | セミナー室寄<br>附講座B216        | 和田茂樹<br>武正憲          | リモートセンシング、GISマッピング、社会調査法、SPSS、データの統計的処理など生態系モニタリングに必要な技術    |
| 02JZ009<br>01AD432 | 植生学                              | 1  | 1~5年<br>次 | 秋B   | 火1、2 | 理科系C103                  | 上條隆志<br>川田清和<br>清野達之 | 植生調査の基礎、モンゴルの植生等  |
| 02JZ010<br>01AD318 | Vegetation Science<br>(English)  | 1  | 1~5年<br>次 | 秋A   | 火1、2 | 理科系B107                  | 上條隆志<br>川田清和<br>清野達之 | 植生調査の基礎、モンゴルの植生等  |
| 02JZ011<br>01AB827 | 遺伝子多様性学                          | 2  | 1~5年<br>次 | 秋AB  | 金1、2 | 生農G501                   | 渡邊和男<br>河瀬眞琴<br>小口太一 | 遺伝子レベルの生物多様性保全、遺伝資源へのアクセスと利益配分(「遺伝子多様性学」とコードシェア)            |

| 科目番号<br>(コードシェア)   | 科目名  | 単位 | 標準履修年数    | 学期  | 曜時限 | 教室               | 担当教員                 | 授業概要   |
|--------------------|--|----|-----------|-----|-----|------------------|----------------------|--|
| 02JZ012<br>01EC552 | International Conventions for Environment (English)    | 1  | 1~5年<br>次 | 春B  | 集中  | セミナー室寄附講座 B216   | 吉田正人<br>外部講師<br>稻葉信子 | 生物多様性条約、気候変動枠組み条約等の国際条約の課題<br>2018年6月15日、6月22日、塊江正彦氏（外務省参与）、香取玲氏（東北大学教授）による集中講義          |
| 02JZ013<br>01EC548 | Role of International Organizations and NGOs (English) | 1  | 1~5年<br>次 | 秋A  | 集中  | セミナー室寄附講座 B216   | 吉田正人<br>外部講師<br>稻葉信子 | 生物多様性保全におけるNGOの役割<br>2018年10月20日、21日、Leticia Leitao氏<br>(IUCN, ICOMOS, ICCROM元職員)による集中講義 |
| 02JZ014<br>01EC549 | International Cooperation for Environment (English)    | 1  | 1~5年<br>次 | 春C  | 集中  | セミナー室寄附講座 B216   | 吉田正人<br>外部講師<br>稻葉信子 | 自然遺産保護に関する国際協力<br>2018年7月21日、22日、鈴木和信氏（JICA）による集中講義                                      |
| 02JZ015<br>01EC550 | Citizens' Participation for Environment (English)      | 1  | 1~5年<br>次 | 秋C  | 集中  | セミナー室寄附講座 B216   | 吉田正人<br>外部講師<br>稻葉信子 | 世界遺産と市民参加<br>Richard Dumez氏（フランス自然史博物館）による集中講義   |
| 02JZ016<br>01EC551 | Environment and Sustainability (English)               | 1  | 1~5年<br>次 | 秋A  | 集中  | セミナー室寄附講座 B216   | 吉田正人<br>外部講師<br>稻葉信子 | 世界遺産の保全と持続可能な開発<br>2018年10月29日、30日、Nigel Crawhall氏（エヌコ 小島嶼・先住民部長）による集中講義                 |
| 02JZ017            | 自然保護行政論  | 1  | 1~5年<br>次 | 秋C  | 集中  | セミナー室寄附講座 B216   | 渡辺綱男<br>外部講師         | 自然保護行政に係る環境省自然保護局等の関係者による講義<br>(渡辺綱男前自然環境局長)   |
| 02JZ018            | 自然保護法制度  | 1  | 1~5年<br>次 | 秋BC | 集中  | セミナー室<br>(大)B218 | 吉田正人<br>外部講師         | 環境基本法、生物多様性基本法、自然公園法、文化財保護法、種の保存法等の理解  |
| 02JZ019            | 環境影響評価   | 1  | 1~5年<br>次 | 秋BC | 集中  | セミナー室<br>(大)B218 | 吉田正人<br>外部講師         | 環境影響評価制度実務者による講義、環境影響評価、戦略的環境影響評価(SEA)、生物多様性オフセット  |
| 02JZ020            | 生態系の保全と復元  | 1  | 1~5年<br>次 | 未定  | 集中  | セミナー室<br>(大)B218 | 佐伯いく代<br>外部講師        | 生態系の構造と機能、物質循環とエネルギー一流、生態系の復元と回復、自然災害と自然再生   |
| 02JZ021            | 自然保護教育と環境教育  | 1  | 1~5年<br>次 | 未定  | 随時  | 学外               | 佐伯いく代<br>外部講師        | 自然保護教育、環境教育、インタープリテーション  |

| 科目番号<br>(コードシェア)   | 科目名   | 単位 | 標準履修年     | 学期            | 曜時限 | 教室                 | 担当教員                         | 授業概要  |
|--------------------|---|----|-----------|---------------|-----|--------------------|------------------------------|---|
| 02JZ022            | 自然保護セミナー  | 1  | 1~5年<br>次 | 春BC<br>秋A     | 随時  | セミナー室寄<br>附講座 B216 | 佐伯いく代<br>佐方啓介<br>和田茂樹<br>武正憲 | 自然保護にかかわる様々なトピックについて、ゲストスピーカーの講演の聽講、グループディスカッション、エクスカーション、学生による研究紹介 |
| 02JZ023<br>01EC559 | インターブリテーション<br>ヒエコツーリズム                           | 1  | 1~5年<br>次 | 秋A            | 随時  | セミナー室寄<br>附講座 B216 | 武 正憲                         | 自然遺産、文化遺産の価値をどのように伝えるのか、技術や価値の捉え方にについて事例を通して考察                      |
| 02JZ024            | ジオノペーク論   | 1  | 1~5年<br>次 | 秋A            | 集中  | セミナー室寄<br>附講座 B216 | 久田健一郎<br>佐伯いく代<br>外部講師       |   |
| 02JZ025            | サイエンティフィック・<br>ジャーナリズム                            | 1  | 1~5年<br>次 | 春ABC          | 随時  |                    | 和田 洋                         |   |
| 02JZ026            | 自然保護特別講義1<br>(科学と社会のコミュニケーション)                    | 1  | 1~5年<br>次 | 夏季<br>休業<br>中 | 集中  | セミナー室寄<br>附講座 B216 | 早岡英介<br>武 正憲                 | 自然番組や科学番組の制作経験のある早岡英介氏による講義   |
| 02JZ027            | 自然保護特別講義2<br>(Nature-Culture<br>Linkage Workshop) | 1  | 1~5年<br>次 | 夏季<br>休業<br>中 | 集中  | セミナー室寄<br>附講座 B216 | 吉田正人                         |   |

<実習>

| 科目番号<br>(コードシェア)   | 科目名  | 単位 | 標準履修年     | 学期        | 曜時限 | 教室             | 担当教員                  | 授業概要  |
|--------------------|--|----|-----------|-----------|-----|----------------|-----------------------|---|
| 02JZ102            | 海域フィールド実習  | 2  | 1~5年<br>次 | 秋C        | 集中  | 下田臨海実驗<br>センター | 和田茂樹<br>武正憲           | 下田臨海実驗センターにおける海洋生態系実習                                   |
| 02JZ106<br>01EC564 | Project Practice in<br>Natural Heritage<br>(English) | 2  | 1~5年<br>次 | 春季休<br>業中 | 集中  | 学外             | 吉田正人<br>佐方啓介<br>佐伯いく代 | オーストラリア タスマニア島における実習                                    |
| 02JZ107            | 陸域フィールド実習 1  | 1  | 1~5年<br>次 | 未定        | 集中  | 学外             | 上條隆志<br>佐伯いく代         | 筑波山およびハケ岳(もししくは井川)における実習                                |
| 02JZ108            | 陸域フィールド実習 2  | 1  | 1~5年<br>次 | 秋AB       | 集中  | 学外             | 佐伯いく代<br>上條隆志         | 筑波近郊の里山と身近な自然(02JZ107「陸域フィールド<br>実習 1」と一緒にすることを推奨)      |
| 02JZ109            | 保護地域・野生生物管理<br>実習 1                                  | 1  | 1~5年<br>次 | 夏季休<br>業中 | 集中  | 学外             | 武 正憲<br>佐方啓介<br>伊藤太一  | 国立公園やエコパークなどの保護地域を訪れ、保護地域や<br>野生生物管理の実態を体験(保護地域内における実習) |
| 02JZ110            | 保護地域・野生生物管理<br>実習 2                                  | 1  | 1~5年<br>次 | 夏季休<br>業中 | 集中  | 学外             | 佐方啓介<br>武 正憲<br>伊藤太一  | 国立公園やエコパークなどの保護地域を訪れ、保護地域や<br>野生生物管理の実態を体験(保護地域内における実習) |
| 02JZ111            | 自然保護特別実習 1   | 2  | 1~5年<br>次 | 夏季休<br>業中 | 集中  | 学外             | 吉田正人<br>稻葉信子          | Nature-Culture Linkage の実習                              |
| 02JZ113            | 自然保護特別実習 2   | 2  | 1~5年<br>次 | 通年        | 随時  | 学外             | 佐伯いく代                 | 国際シンポジウム企画運営  |
| 02JZ112<br>01EC539 | 自然遺産実習   | 2  | 1~5年<br>次 | 夏季休<br>業中 | 集中  | 学外             | 吉田正人<br>武 正憲          | 小笠原諸島父島における実習   |

<インターンシップ>

| 科目番号<br>(コードシェア) | 科目名        | 単位<br>履修年<br>次 | 標準<br>履修年<br>次 | 学期 | 曜時限                    | 教室 | 担当教員          | 授業概要  |
|------------------|------------|----------------|----------------|----|------------------------|----|---------------|---|
| 02JJZ01          | 短期インターンシップ | 1<br>次         | 1~5年<br>次      | 通年 | 随時<br>(1ヶ月未満)          | 学外 | 佐方啓介<br>佐伯いく代 | 国、地方自治体、自然保護団体等、国内におけるインター<br>ンシップ、IUCN等の国際機関、JICA青年海外協力隊(短<br>期ボランティア)等、海外におけるインターンシップ |
| 02JJZ02          | 中期インターンシップ | 2<br>次         | 1~5年<br>次      | 通年 | 随時<br>(1ヶ月以上<br>3ヶ月未満) | 学外 | 佐方啓介<br>佐伯いく代 | 国、地方自治体、自然保護団体等、国内におけるインター<br>ンシップ、IUCN等の国際機関、JICA青年海外協力隊(短<br>期ボランティア)等、海外におけるインターンシップ |
| 02JJZ03          | 長期インターンシップ | 3<br>次         | 1~5年<br>次      | 通年 | 随時<br>(3ヶ月以上<br>1年以内)  | 学外 | 佐方啓介<br>佐伯いく代 | 国、地方自治体、自然保護団体等、国内におけるインター<br>ンシップ、IUCN等の国際機関、JICA青年海外協力隊(短<br>期ボランティア)等、海外におけるインターンシップ |
| 02JJZ04          | 海外インターンシップ | 5<br>次         | 1~5年<br>次      | 通年 | 随時<br>(6ヶ月)            | 国外 | 吉田正人<br>佐方啓介  | IUCN(スイス)   |
| 02JJZ05          | 海外自然保護特別研究 | 3<br>次         | 1~5年<br>次      | 通年 | 随時                     | 国外 | 吉田正人<br>佐方啓介  | タスマニア大学、ディーキン大学など提携大学での研究活<br>動など   |



# VI

## 教員一覧および連絡先



# 教員一覧および連絡先

---

吉田正人 教授 (研究室：人文社会学系棟 2 階教員研究室 B212)

内線：5993 e-mail: yoshida\_masahito@heritage.tsukuba.ac.jp

オフィスアワー：木曜日 13:00-17:00

---

稻葉信子 教授 (研究室：共同研究棟 A 棟 2 階教員研究室 A205\_2)

内線：2810 e-mail: inaba@heritage.tsukuba.ac.jp

オフィスアワー：木曜日 16:45-18:00

---

上北恭史 教授 (研究室：共同研究棟 A 棟 2 階教員研究室 A204\_1)

内線：7498 e-mail: uekita@heritage.tsukuba.ac.jp

オフィスアワー：木曜日 10:00-12:00

---

伊藤 弘 准教授 (研究室：共同研究棟 A2 階教員研究室 A205\_1)

内線：2825 e-mail: hiroito@heritage.tsukuba.ac.jp

オフィスアワー：火曜日 14:00-15:00

---

佐伯いく代 准教授 (研究室：人文社会学系棟 2 階教員研究室 B214)

内線：7686 e-mail: isaeki@heritage.tsukuba.ac.jp

オフィスアワー：

---

武 正憲 助教 (研究室：人文社会学系棟 2 階教員研究室 B213)

内線：2820 e-mail: take@heritage.tsukuba.ac.jp

オフィスアワー：

---

黒田乃生 教授 (研究室：芸術学系棟 B401)

内線：5992 e-mail: kuroda@heritage.tsukuba.ac.jp

オフィスアワー：火曜日 15:30-16:30

---

八木春生 教授 (研究室：芸術学系棟 B402)

内線：2826 e-mail: hyagi@heritage.tsukuba.ac.jp

オフィスアワー：火曜日 16:00-17:30

---

松井敏也 教授 (研究室：芸術学系棟 B404)

内線：5832 e-mail: t-matsui@heritage.tsukuba.ac.jp

オフィスアワー：火曜日 14:00-15:00

---

マヤ イシザワ 研究員 (研究室：人文社会学系棟 B215)

内線：2781 e-mail: maya@heritage.tsukuba.ac.jp

オフィスアワー：

---

筑波大学大学院人間総合科学研究科博士前期課程世界遺産専攻  
筑波大学大学院人間総合科学研究科博士後期課程世界文化遺産学専攻  
平成 30 年度シラバス

---

平成 30 年 4 月

編集：世界遺産専攻・世界文化遺産学専攻カリキュラム委員

発行：筑波大学大学院人間総合科学研究科博士前期課程世界遺産専攻

筑波大学大学院人間総合科学研究科博士後期課程世界文化遺産学専攻